

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6878996号
(P6878996)

(45) 発行日 令和3年6月2日 (2021. 6. 2)

(24) 登録日 令和3年5月7日 (2021. 5. 7)

(51) Int. Cl. F I
G 0 6 Q 50/22 (2018. 01) G 0 6 Q 50/22
G 0 6 Q 50/10 (2012. 01) G 0 6 Q 50/10

請求項の数 10 (全 40 頁)

(21) 出願番号	特願2017-61922 (P2017-61922)	(73) 特許権者	000001443
(22) 出願日	平成29年3月27日 (2017. 3. 27)		カシオ計算機株式会社
(65) 公開番号	特開2018-163618 (P2018-163618A)		東京都渋谷区本町 1 丁目 6 番 2 号
(43) 公開日	平成30年10月18日 (2018. 10. 18)	(74) 代理人	110001807
審査請求日	令和2年3月18日 (2020. 3. 18)		特許業務法人磯野国際特許商標事務所
		(72) 発明者	深谷 将司
			東京都渋谷区本町 1 丁目 6 番 2 号 カシオ 計算機株式会社内
		審査官	原 忠
		(56) 参考文献	特開2002-032480 (JP, A) 特開2015-015010 (JP, A)
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報公開システムおよび情報公開プログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のデータベースに登録されている複数の第 1 サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第 1 の情報提供サービスとして公開する第 1 のサービス情報公開手段と、

第 2 のデータベースに登録されている複数の第 2 サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第 2 の情報提供サービスとして公開する第 2 のサービス情報公開手段と、

前記第 1 のデータベースに登録されている第 1 サービス情報であって前記第 2 の情報提供サービスでも公開されるように前記第 2 のデータベースへの登録候補として前記第 2 の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第 1 サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第 1 サービス情報に基づいて前記第 2 の情報提供サービスで公開されることになった第 2 サービス情報であって前記情報提供された第 1 サービス情報と対応付けて登録されている第 2 サービス情報を、前記情報提供されたことのある第 1 サービス情報と比較可能に表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする情報公開システム。

【請求項 2】

前記第 1 サービス情報及び前記第 2 サービス情報は、それぞれが複数の項目からなり、前記表示制御手段は、前記操作ボタンが操作された場合には、前記第 1 サービス情報と前記第 2 サービス情報との間で互いに対応する項目の内容を比較可能なように前記第 1 サービス情報と前記第 2 サービス情報とを並べて表示させる、ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報公開システム。

10

20

【請求項 3】

前記第 1 のデータベースに登録されている第 1 サービス情報が前記第 2 の情報提供サービスでも公開されるように前記第 2 のデータベースへの登録候補として前記第 2 の情報提供サービスに情報提供されることで前記第 1 サービス情報に基づいて前記第 2 のデータベースに新たに登録されることになった場合に、当該新たに登録されることになった第 2 サービス情報に前記第 1 サービス情報に対応付けて登録する登録手段、
を備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報公開システム。

【請求項 4】

第 1 のデータベースに登録されている複数の第 1 サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第 1 の情報提供サービスとして公開する第 1 のサービス情報公開手段と、
第 2 のデータベースに登録されている複数の第 2 サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第 2 の情報提供サービスとして公開する第 2 のサービス情報公開手段と、
前記第 1 のデータベースに登録されている第 1 サービス情報であって前記第 2 の情報提供サービスでも公開されるように前記第 2 のデータベースへの登録候補として前記第 2 の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第 1 サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第 1 サービス情報に基づいて前記第 2 の情報提供サービスで公開されることになった第 2 サービス情報であって前記情報提供された第 1 サービス情報と対応付けて登録されている第 2 サービス情報を、ユーザからの所定の操作に基づいて、前記情報提供されたことのある第 1 サービス情報と比較可能に表示させる表示制御手段と、
を備えたことを特徴とする情報公開システム。

【請求項 5】

第 1 のデータベースに登録されている複数の第 1 サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第 1 の情報提供サービスとして公開する第 1 のサービス情報公開手段と、
第 2 のデータベースに登録されている複数の第 2 サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第 2 の情報提供サービスとして公開する第 2 のサービス情報公開手段と、
前記第 1 のデータベースに登録されている第 1 サービス情報であって前記第 2 の情報提供サービスでも公開されるように前記第 2 のデータベースへの登録候補として前記第 2 の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第 1 サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第 1 サービス情報に基づいて前記第 2 の情報提供サービスで公開されることになった第 2 サービス情報であって前記情報提供された第 1 サービス情報と対応付けて登録されている第 2 サービス情報について、前記第 2 の情報提供サービスでの取り扱い状態を表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段と、
を備えたことを特徴とする情報公開システム。

【請求項 6】

第 1 のデータベースに登録されている複数の第 1 サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第 1 の情報提供サービスとして公開する第 1 のサービス情報公開手段と、
第 2 のデータベースに登録されている複数の第 2 サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第 2 の情報提供サービスとして公開する第 2 のサービス情報公開手段と、
前記第 1 のデータベースに登録されている第 1 サービス情報であって前記第 2 の情報提供サービスでも公開されるように前記第 2 のデータベースへの登録候補として前記第 2 の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第 1 サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第 1 サービス情報に基づいて前記第 2 の情報提供サービスで公開されることになった第 2 サービス情報であって前記情報提供された第 1 サービス情報と対応付けて登録されている第 2 サービス情報についての前記第 2 の情報提供サービスでの取り扱い状態を、ユーザからの所定の操作に基づいて表示させる表示制御手段と、
を備えたことを特徴とする情報公開システム。

【請求項 7】

ネットワークに接続されたコンピュータを、
第 1 のデータベースに登録されている複数の第 1 サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第 1 の情報提供サービスとして公開する第 1 のサービス情報公開手段、

第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、

前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報を、前記情報提供されたことのある第1サービス情報と比較可能に表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段、
として機能させるための情報公開プログラム。

10

【請求項8】

ネットワークに接続されたコンピュータを、

第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、

第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、

前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報を、ユーザからの所定の操作に基づいて、前記情報提供されたことのある第1サービス情報と比較可能に表示させる表示制御手段、
として機能させるための情報公開プログラム。

20

【請求項9】

ネットワークに接続されたコンピュータを、

第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、

第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、

前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報について、前記第2の情報提供サービスでの取り扱い状態を表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段、
として機能させるための情報公開プログラム。

30

【請求項10】

ネットワークに接続されたコンピュータを、

第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、

第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、

前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報についての前記第2の情報提供サービスでの取り

40

50

扱い状態を、ユーザからの所定の操作に基づいて表示させる表示制御手段、
として機能させるための情報公開プログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、情報公開システムおよび情報公開プログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

社会の高齢化に伴い、多くの介護サービスが提供されるようになっている。介護サービスには、市役所・医師会・ボランティアセンタなどが提供しているサービスや地域住民（要介護者、要支援者、その家族）の自宅を訪問する医療・家事援助・配食などのサービスがある。

10

介護を必要とする高齢者や介護する家族を支援する一環として、自治体は地域住民に介護サービスの情報提供を行っている。介護サービスを使いやすくするためには、介護サービス事業者名と連絡先だけではなく、サービスの内容や施設の場所（地図）、料金など様々な情報を提供する必要がある。

【0003】

自治体は介護サービス事業者から種々の情報を収集した上で、自治体が運営する地域包括支援センタと情報共有したり、公開可能な情報をインターネット経由で地域住民に提供したりする。さらに、公開可能な情報を介護情報のポータルサイトに提供することも考えられる。データベースのASP（Application Service Provider）を利用することで、自治体と地域包括支援センタとで情報共有を実現することができる（特許文献1）。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2004-70841号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

自治体は、特許文献1のデータベースのサービスを利用することで、収集した介護サービスの情報を地域包括支援センタと共有することができるが、地域住民向けに一般公開することはできない。また、公開可能な情報を介護情報ポータルサイトへ提供する方法については記載がない。

30

【0006】

仮に、自治体が公開可能な情報を記憶媒体に格納して介護情報ポータルサイトに渡すにしても、ポータルサイトが公開した情報の在り処（情報のアドレス／URL（Universal Resource Locator））や変更点を知る術がない。このため、ポータルサイトの情報を見た住民から自治体に問い合わせがあったとしても、自身が保有している情報との違いが分からず、適切な回答ができなかったり、回答に手間取ったりする虞がある。

【0007】

40

本発明の課題は、第1の情報提供サービスと第2の情報提供サービスと間での所定のサービス情報に対する公開状態または取扱い状態を容易に比較可能にすることである。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記の課題を解決するために、本発明に係る第1の態様の情報公開システムは、第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段と、第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段と、前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公

50

開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報を、前記情報提供されたことのある第1サービス情報と比較可能に表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

また、本発明に係る第2の態様の情報公開システムは、第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段と、第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段と、前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報を、ユーザからの所定の操作に基づいて、前記情報提供されたことのある第1サービス情報と比較可能に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

また、本発明に係る第3の態様の情報公開システムは、第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段と、第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段と、前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報について、前記第2の情報提供サービスでの取り扱い状態を表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

また、本発明に係る第4の態様の情報公開システムは、第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段と、第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段と、前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報についての前記第2の情報提供サービスでの取り扱い状態を、ユーザからの所定の操作に基づいて表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

また、本発明に係る第1の態様の情報公開プログラムは、ネットワークに接続されたコンピュータを、第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提

10

20

30

40

50

供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報を、前記情報提供されたことのある第1サービス情報と比較可能に表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段、として機能させることを特徴とする。

また、本発明に係る第2の態様の情報公開プログラムは、ネットワークに接続されたコンピュータを、第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報を、ユーザからの所定の操作に基づいて、前記情報提供されたことのある第1サービス情報と比較可能に表示させる表示制御手段、として機能させることを特徴とする。

また、本発明に係る第3の態様の情報公開プログラムは、ネットワークに接続されたコンピュータを、第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報について、前記第2の情報提供サービスでの取り扱い状態を表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段、として機能させることを特徴とする。

また、本発明に係る第4の態様の情報公開プログラムは、ネットワークに接続されたコンピュータを、第1のデータベースに登録されている複数の第1サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、第2のデータベースに登録されている複数の第2サービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、前記第1のデータベースに登録されている第1サービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに過去に情報提供されたことのある第1サービス情報を表示させる際に、当該情報提供された第1サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった第2サービス情報であって前記情報提供された第1サービス情報と対応付けて登録されている第2サービス情報についての前記第2の情報提供サービスでの取り扱い状態を、ユーザからの所定の操作に基づいて表示させる表示制御手段、として機能させることを特徴とする。

【発明の効果】

【0009】

本発明によれば、第1の情報提供サービスと第2の情報提供サービスと間での所定のサービス情報に対する公開状態または取扱い状態を容易に比較可能となる。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本実施形態におけるサービス情報の登録から公開、全国向けポータルサイトへの提供、全国向けポータルサイトからの公開、および、サービス情報に関する問い合わせ対応の流れを示す図である。

【図2】本実施形態におけるサービス情報公開システムの概略構成を示す図である。

【図3】本実施形態におけるサーバの構成を示すブロック図である。

【図4】本実施形態におけるサービス公開情報DBの構成を示す図である。

【図5】本実施形態におけるサービス非公開情報DBの構成を示す図である。

【図6】本実施形態における地域資源DBの構成を示す図である。

10

【図7】本実施形態におけるサービス情報詳細画面項目定義ファイルを示す図である。

【図8】本実施形態における端末に表示される画面間の遷移図である。

【図9】本実施形態における全国向けポータルサイトに東西区職員がログインした直後のホームページ画面の一例を示す図である。

【図10】本実施形態における東西区向けのサービス情報共有ページ画面の一例を示す図である。

【図11】本実施形態における東西区向けのサービス情報新規作成画面の一例を示す図である。

【図12】本実施形態における東西区向けのサービス情報新規作成画面であって、非公開項目入力フォームを伴ったサービス情報新規作成画面の一例を示す図である。

20

【図13】本実施形態における東西区向けのサービス情報詳細基本情報画面の一例を示す図である。

【図14】本実施形態における東西区向けのサービス情報詳細基本情報画面であって、地方向けポータルサイトから一般公開されたサービス情報のサービス情報詳細基本情報画面の一例を示す図である。

【図15】本実施形態における東西区向けのサービス情報詳細基本情報画面であって、全国向けポータルサイトへ提供されたサービス情報のサービス情報詳細基本情報画面の一例を示す図である。

【図16】本実施形態における全国向けポータルサイトに地域住民がログインした直後のホームページ画面の一例を示す図である。

30

【図17】本実施形態における全国向けポータルサイトが提供する地域住民向けのサービス情報一覧画面の一例を示す図である。

【図18】本実施形態における全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面の一例を示す図である。

【図19】本実施形態における地方向けポータルサイトのホームページ画面の一例を示す図である。

【図20】本実施形態における地方向けポータルサイトのサービス情報一覧画面の一例を示す図である。

【図21】本実施形態における地方向けポータルサイトのサービス情報詳細基本情報画面の一例を示す図である。

40

【図22】本実施形態における東西区向けのサービス情報詳細基本情報画面であって、全国向けポータルサイトへ提供されたサービス情報が公開された後のサービス情報詳細基本情報画面の一例を示す図である。

【図23】本実施形態における全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面であって、全国向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面の一例を示す図である。

【図24】本実施形態における全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面であって、地方向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面の一例を示す図である。

【図25】本実施形態におけるサーバが実行するサービス情報の全国向けポータルサイト

50

への提供処理を示すフローチャートである。

【図26】本実施形態におけるサーバが実行する全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面の画面データの生成処理を示すフローチャートである。

【図27】本実施形態の変形例における全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面であって、全国向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面の一例を示す図である。

【図28】本実施形態の変形例における全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面であって、全国向けポータルサイトで公開されていないサービス情報のサービス情報詳細比較画面の一例を示す図である。

10

【発明を実施するための形態】

【0011】

以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。なお、同一の要素が異なる図に示されていても同一の符号を付与して、その重複する説明を省略することがある。

図1は、本実施形態におけるサービス情報の登録から公開、全国向けポータルサイトへの提供、全国向けポータルサイトからの公開、および、サービス情報に関する問い合わせ対応の流れを示す図である。図1に記載の(1)～(6)に沿って説明する。

【0012】

(1)自治体である東西区の職員が、サービス情報(介護サービス情報)を登録して地域住民向けに一般公開する。詳しくは、東西区職員が介護サービスを提供している事業者から情報を収集し、サービス情報新規作成画面540zから入力する。入力された情報は、東西区サービス公開情報DB(Database、データベース)160zに登録される。入力される情報には、サービス名称やサービス提供元名称、サービス内容などがあり、公開してよい情報と非公開の情報とが分けられて入力される。

20

【0013】

東西区サービス公開情報DB160zは、介護情報ポータルサイト(全国向けポータルサイト)(第2の情報提供サービス)100z内にある。全国向けポータルサイト運営者が、サービス情報共有や一般公開サービスの一環として東西区サービス公開情報DB160zを東西区に提供しており、もっぱら東西区職員や東西区地域包括支援センタ職員などの東西区の介護保険関係者がアクセスする。

30

東西区職員が東西区サービス公開情報DB160zに登録したサービス情報の一般公開を指示すると、東西区が提供する介護サービス情報として一般公開される。以下、東西区が一般公開して介護サービス情報を提供するサイト(サーバ)(第1の情報提供サービス)を地方向けポータルサイトとも記す。

【0014】

(2)東西区職員は、登録したサービス情報を全国向けポータルサイト100zに提供する。詳しくは、東西区職員が全国向けポータルサイト100zにサービス情報の提供を指示すると、指示されたサービス情報が東西区サービス公開情報DB160zから地域資源DB140に提供(コピー)され、全国向けポータルサイト運営者に提供通知が届く。地域資源DB140は、全国向けポータルサイトが提供する介護サービス情報で一般公開されるサービス情報を格納しているデータベースである。

40

【0015】

(3)全国向けポータルサイト運営者は、提供通知によりサービス情報が東西区から提供されたことを知る。全国向けポータルサイト運営者は、サービス情報変更画面902zで内容を閲覧し、サービス提供元に問い合わせるなどしてサービス情報を変更する。変更内容の例としては、その時々キャンペーン価格や催しの予定などがある。変更を終えると、全国向けポータルサイト運営者は変更したサービス情報を東西区職員に示して、全国向けポータルサイトが提供する介護サービス情報として一般公開してよいか承認を求めてもよい。承認を得た後に、全国向けポータルサイト運営者は、地域資源DB140に格納されている当該サービス情報を一般公開する。承認を求めない場合には、変更後に一般公

50

開する。

【0016】

(4) 東西区住民は、全国向けポータルサイト100zで地域の介護サービスを検索して、地域資源DB140に格納されている介護サービス情報をサービス情報詳細基本情報画面640zから閲覧する。東西区住民は、地方向けポータルサイトから（東西区が提供し東西区サービス公開情報DB160zから）一般公開されている介護サービス情報を閲覧することもできる。

(5) サービス情報詳細基本情報画面640zから介護サービス情報を得た東西区住民は、その内容について東西区に問い合わせる。全国向けポータルサイト100zやサービス提供元に問い合わせる東西区住民も存在する。

10

【0017】

(6) 問い合わせに対応する東西区職員は、全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトのサービス情報詳細比較画面580zを閲覧しながら、問い合わせに回答する。全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトのサービス情報詳細比較画面580zには、東西区サービス公開情報DB160zに格納されていて東西区が提供する一般公開情報（地方向けポータルサイトから提供される一般公開情報）の画面と、地域資源DB140に格納されていて全国向けポータルサイト100zが提供する一般公開情報の画面との両方の画面情報が含まれている。このため、東西区職員は、2つのサービス情報を1画面で閲覧することができ、比較しやすくなっており、東西区住民からの問い合わせに迅速、的確に対応することができる。

20

【0018】

以下、全国向けポータルサイト100zのシステム構成や処理内容、東西区職員や東西区住民（地域住民）が閲覧する画面について詳細に説明する。図2～図7は、全国向けポータルサイト100zのサービスを提供するサービス情報公開システム100の構成を示す。図8は、図9～図24に示す画面間の遷移を示す図である。図8に記載した符号と図9～図24に示す画面の符号とは同じである。図25と図26とは、一般公開処理とサービス情報詳細比較画面の画面データ生成処理とのフローチャートである。

【0019】

《システムの構成》

図2は、本実施形態におけるサービス情報公開システム100の概略構成を示す図である。サービス情報公開システム100は、図1記載の全国向けポータルサイト100zのサービスを提供するシステムである。また、サービス情報公開システム100は、地方向けポータルサイトのサービスも提供している。サービス情報公開システム100は、サーバ120、ロードバランサ192、関係データベース130を含んで構成される。関係データベース130は、サービス公開情報DB（サービスDB、第1のデータベース）160、サービス非公開情報DB180、事業者情報DB195、地域資源DB（サービス資源、第2のデータベース）140、一般地域資源DB196を含んで構成される。

30

【0020】

サービス情報公開システム100は、ロードバランサ192とインターネット191を介して端末110aと通信可能に接続される。端末110aは、介護サービスを受ける地域住民301やその家族（不図示）が操作する。

40

【0021】

東西区を含む介護サービス事業者の事業者メンバ（東西区職員）306が利用する端末110b、および、サービス情報公開システム100の運営者である全国向けポータルサイト運営者307が利用する端末110cはサーバ120に接続される。端末（110b、110c）とサーバ120との接続は、暗号化通信やIPアドレス制限などが実施され、関係データベース130への不正アクセスを防止している。以下、各端末（110a、110b、110c）を特に区別しないときには、単に端末110と記載する。また、事業者メンバ306を本実施例に即して東西区職員とも記す。

【0022】

50

サーバ１２０は、インターネット１９１を介して接続された端末１１０aに対して、地域で提供される医療、家事援助、配食などの介護サービス（地域資源）の情報検索サービスを提供する。サーバ１２０は、介護サービスの他に、介護に関係する記事コンテンツや求人情報を提供する。介護サービスやその他の情報は、地域資源DB１４０と一般地域資源DB１９６とに格納される。

【００２３】

図３は、本実施形態におけるサーバ１２０の構成を示すブロック図である。サーバ１２０は、プロセッサ１２１と、メモリ（RAM（Random Access Memory））１２２と、記憶部１２３と、入出力部１２６と、通信部１２７とを含む。

【００２４】

プロセッサ１２１は、サーバ１２０全体を制御し、端末１１０に地域資源（介護サービス）の情報提供や事業者メンバ（東西区職員）３０６間での情報共有のサービスを提供する。プロセッサ１２１は、記憶部１２３に格納された基本プログラム１２４や各種サービスのプログラム１２５を実行して、図２５や図２６の処理を実行したり、サービスを提供したりする。サービスには、関係データベース１３０に格納された介護サービス情報の事業者メンバ（東西区職員）３０６での共有サービスや地域住民３０１への介護サービス情報の検索・詳細情報閲覧などのサービス提供がある。

【００２５】

メモリ１２２には、基本プログラム１２４や各種サービスのプログラム１２５、各種データが一時的に記憶される。記憶部１２３には、基本プログラム１２４や各種サービスのプログラム１２５が格納される。入出力部１２６は、キーボードやディスプレイなど（不図示）とのデータのやり取りを行う。通信部１２７は、ロードバランサ１９２や関係データベース１３０などの外部装置との通信を行う。

【００２６】

《データベースの構成》

以下、関係データベース１３０に格納されるデータベースを説明する。サービス公開情報DB１６０とサービス非公開情報DB１８０とには、東西区職員３０６間で共有されるサービス情報が格納される。サービス公開情報DB１６０には、サービス情報のなかで公開される情報が格納され、サービス非公開情報DB１８０には、サービス情報のなかで公開されない情報が格納される。東西区が地域住民に一般公開したり、全国向けポータルサイト１００zに提供したりする介護サービス情報は、サービス公開情報DB１６０に格納されている。

【００２７】

図４は、本実施形態におけるサービス公開情報DB（第１のデータベース）１６０の構成を示す図である。サービス公開情報DB１６０は、表形式のデータベースであり、１レコード（行）は１つのサービス情報（介護サービス情報）を表す。レコードは、サービス情報ID１６１、区分１６２、名称１６３、提供元１６４、提供元住所１６５、概要１６９、料金１６６、申込方法１６７、備考１６８、一般公開１７１、一般公開日１７２、ポータル提供１７３、ポータル提供日１７４などのサービス情報の属性を含む。

【００２８】

サービス情報ID１６１は、当該サービス情報の識別情報であり、他のデータベースでサービス情報を表すときに参照される。

区分１６２は、当該介護サービスの区分であり、ケアマネ、訪問、通所、ショートステイ、福祉用具、施設、地域密着型サービス、医療・薬局などがある。

名称１６３は、サービスの名称である。

提供元１６４は、サービス提供元の名称である。

提供元住所１６５は、サービス提供元の住所である。

概要１６９は、サービスの概要説明である。

料金１６６は、サービスの料金である。

申込方法１６７は、サービスの申込方法である。

10

20

30

40

50

備考168は、サービスに関する付記である。

【0029】

一般公開171は、当該サービス情報が一般公開済み（Y）か否（N）かを示す。ここで言う一般公開とは、地方向けポータルサイトからの一般公開であり、図1の（1）で説明した一般公開にあたる。

一般公開日172は、当該サービス情報を一般公開した日である。

ポータル提供173は、東西区が当該サービス情報を全国向けポータルサイト100zに提供済み（Y）か否か（N）を示す。

ポータル提供日174は、東西区が当該サービス情報を全国向けポータルサイト100zに提供した日である。

10

【0030】

図5は、本実施形態におけるサービス非公開情報DB180の構成を示す図である。サービス非公開情報DB180は、表形式のデータベースであって、1レコード（行）はサービス情報の1つの非公開項目を示し、サービス情報ID181と、項目名182と、項目内容183との属性を含む。

【0031】

サービス情報ID181は、当該非公開項目がどのサービス情報の非公開項目であるのかを示し、当該サービス情報のサービス情報ID161を示す。

項目名182は、当該非公開項目の項目名称を示す。

項目内容183は、当該非公開項目の項目内容を示す。

20

【0032】

図6は、本実施形態における地域資源DB（第2のデータベース）140の構成を示す図である。地域資源DB140は、全国向けポータルサイト100zが東西区から提供を受け、地域住民に一般公開する介護サービス情報を格納する。

地域資源DB140は、表形式のデータベースであり、1レコード（行）は1つのサービス情報（介護サービス情報）を表す。サービス情報ID141、区分142、名称143、提供元144、提供元住所145、概要149、料金146、申込方法147、備考148、情報提供元151、情報提供日152、状態153、承認日154、公開日155などのサービス情報の属性を含む。

【0033】

30

サービス情報ID141と、区分142と、名称143と、提供元144と、提供元住所145と、概要149と、料金146と、申込方法147と、備考148とは、サービス公開情報DB160のサービス情報ID161と、区分162と、名称163と、提供元164と、提供元住所165と、概要169と、料金166と、申込方法167と、備考168と、それぞれ同等である。情報提供元151がサービス情報を全国向けポータルサイト100zに提供した時点では、それぞれの属性（141～149、161～169）は同じ内容であるが、その後に全国向けポータルサイト運営者307が地域資源DB140の属性（141～149）を変更する。

【0034】

情報提供元151は、当該サービス情報の提供元である。図1で説明したとおり、東西区が介護サービス情報の提供元である。

40

情報提供日152は、情報提供元151が全国向けポータルサイト100zに当該サービス情報を提供した日である。

状態153は、当該サービス情報の状態である。状態153には、新規提供を受けた「新規」、サービス情報を変更した「更新」、情報公開の承認を情報提供元151に申し込んだ「承認依頼」、情報提供元151から承認を得た「承認済」、一般公開した「一般公開」などの状態がある。情報提供元151の承認を受けずに一般公開する場合もあり、この場合には、状態153は「新規」、「更新」、「一般公開」と変化する。ここで言う一般公開とは、全国向けポータルサイト100zとしての一般公開であり、図1の（3）で説明した一般公開にあたる。

50

【0035】

承認日154は、情報提供元151から当該サービス情報の提供を受け、全国向けポータルサイト運営者307が内容を変更して、一般公開の承認を情報提供元151へ依頼して、承認を得た日である。

公開日155は、当該サービス情報を一般公開した日である。

【0036】

事業者情報DB195には、事業者（東西区）に属するメンバで共有するサービスの提供元や事業者の詳細情報などが格納される。

一般地域資源DB196には、介護に関係する記事コンテンツや求人情報が格納される。

10

【0037】

図7は、本実施形態におけるサービス情報詳細画面項目定義ファイルを示す図である。サービス情報詳細画面項目定義ファイル（以下、項目定義ファイルとも記す）は、サービス情報詳細を表示する画面におけるサービス情報の各項目の表示形式を定義するためのファイルである。

【0038】

図7（a）は、後述する東西区職員306向けのサービス情報詳細基本情報画面560（図13参照）のサービス情報詳細画面項目定義ファイル350である。サービス情報詳細基本情報画面560に表示される項目の名称は、サービス提供元、サービス提供元HP（Homepage、ホームページ）、…、申込み方法、料金、備考であり、それぞれの項目の内容は、データベースの提供元、提供元HP、…、申込方法、料金、備考の属性から取得することを示す。サービス情報詳細基本情報画面560の内容は、サービス公開情報DB160に含まれるので、上記属性は、サービス公開情報DB160の提供元164、提供元HP（不図示）、申込方法167、料金166、備考168の属性に対応する。

20

【0039】

図7（b）は、後述する地域住民301向けのサービス情報詳細基本情報画面（地域資源情報詳細画面）640（図18参照）のサービス情報詳細画面項目定義ファイル360である。サービス情報詳細基本情報画面640に表示される項目の名称は、サービス名称、サービス概要、…、サービス対象者、料金であり、それぞれの項目の内容は、データベースの名称、概要、…、対象者、料金の属性から取得することを示す。サービス情報詳細基本情報画面640の内容は、地域資源DB140に含まれるので、上記属性は、地域資源DB140の名称143、概要149、対象者（不図示）、料金146の属性に対応する。

30

【0040】

図7（c）は、後述する地域住民301向けのサービス情報詳細基本情報画面740（図21参照）のサービス情報詳細画面項目定義ファイル370である。サービス情報詳細基本情報画面740に表示される項目の名称は、サービス名称、提供元名称、…、サービス情報、問い合わせであることを示す。サービス名称、提供元名称の項目の内容は、それぞれデータベースの名称、提供元の属性から取得することを示す。サービス情報詳細基本情報画面740の内容は、サービス公開情報DB160に含まれるので、上記属性は、サービス公開情報DB160の名称163、提供元164から取得する。

40

【0041】

サービス情報の内容は、複数の項目からなり、項目の名称としてはサービス概要や料金があって、項目の内容は、サービス公開情報DB160の概要169、料金166の属性から取得することを示している（図7（c）の符号377参照）。

問い合わせの内容は、複数の項目からなり、その最初の項目名称は電話番号であって、その内容はサービス公開情報DB160の電話（不図示）の属性から取得することを示している（符号378参照）。

【0042】

《提供サービスの概要》

50

続いて、本実施形態におけるサーバ120と端末110の動作について説明する。サーバ120は、プロセッサ121により、各種サービスの画面データを生成して端末110に送信する。端末110は、受信した画面データに基づいて端末110のディスプレイ（不図示）に画面を表示する。また、端末110は、メニュー・ボタン・タブのクリックやテキスト入力などの操作を受け付けて、入力されたテキストや利用者が表示を要求した画面の識別情報などをサーバ120に送信して、次の画面データを要求する。このような、端末110からサーバ120への画面データ要求（サービス要求）とサーバ120から端末110への画面データ送信を繰り返して、サーバ120は、端末110の利用者である地域住民301や東西区職員306、全国向けポータルサイト運営者307にサービスを提供する。

10

【0043】

サーバ120が提供するサービスには、サービス情報（介護サービス情報）の検索（図9、図16、図19）、サービス情報の一覧の閲覧（図10、図17、図20参照）、サービス情報の新規作成（図11参照）、サービス情報詳細の閲覧（図13、図18、図21参照）、サービス情報詳細の比較（図23、図24）などがある。以下、画面を示しながら、サービス情報公開システム100のサーバ120が提供するサービスを説明する。

【0044】

≪画面遷移≫

図8は、本実施形態における画面（図9～図24）間の遷移図である。図8の符号は、図9～図24の画面の符号に一致している。以下、図8を参照しながら、画面間の遷移について説明した後に、各画面（図9～図24）の詳細を説明する。

20

【0045】

全国向けポータルサイト100zのログインページ（不図示）に東西区職員306がログインすると、東西区向けホームページ画面500（図9参照）が東西区職員の端末110bに表示される。東西区向けホームページ画面500の上部の「マイページ」メニュー503の「事業者管理ページへ」サブメニュー（不図示）を選択すると、サービス情報共有ページ画面520（図10参照）に遷移する。

【0046】

サービス情報共有ページ画面520のサービス情報の新規作成ボタン524がクリックされると、サービス情報新規作成画面540（図11参照）に遷移する。サービス情報入力領域541にサービス情報が入力されて作成ボタン546がクリックされると、サービス情報詳細基本情報画面560（図13参照）に遷移する。この時点でサービス情報詳細基本情報画面560に表示されたサービス情報が、東西区職員306間で共有される。

30

【0047】

サービス情報詳細基本情報画面560の一般公開するボタン561がクリックされると、一般公開するボタン561が一般公開済ラベル561aに変わったサービス情報詳細基本情報画面560a（図14参照）に遷移する。この時点でサービス情報詳細基本情報画面560に表示されたサービス情報のなかで公開可能な情報が、地方向けポータルサイトから一般公開される。

【0048】

サービス情報詳細基本情報画面560aの全国ポータル提供ボタン562がクリックされると、全国ポータル提供ボタン562が全国ポータル提供済ラベル562bに変わったサービス情報詳細基本情報画面560b（図15参照）に遷移する。この時点でサービス情報詳細基本情報画面560に表示されたサービス情報のなかで公開可能な情報が、全国向けポータルサイト100zに提供される。全国向けポータルサイト100zが当該情報を公開した後のサービス情報詳細基本情報画面560cについては、後述する。

40

【0049】

全国向けポータルサイト100zのログインページ（不図示）に地域住民301がログインすると、地域住民向けホームページ画面600（図16参照）が地域住民301の端末110aに表示される。地域住民向けホームページ画面600で介護サービスを検索す

50

ると、地域住民向けのサービス情報一覧画面 6 2 0（図 1 7 参照）に遷移する。

サービス情報一覧画面 6 2 0 のサービス情報一覧表示領域 6 2 5 に表示されている 1 つのサービス名称を選択すると、全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面 6 4 0（図 1 8 参照）に遷移する。

【0 0 5 0】

東西区の介護保険説明ページ（不図示）の介護サービス情報提供ページボタン（不図示）がクリックされると、地方向けポータルサイトのホームページ画面 7 0 0（図 1 9 参照）が地域住民 3 0 1 の端末 1 1 0 a に表示される。地方向けポータルサイトのホームページ画面 7 0 0 で介護サービスを検索すると、地方向けポータルサイトのサービス情報一覧画面 7 2 0（図 2 0 参照）に遷移する。

10

地方向けポータルサイトのサービス情報一覧画面 7 2 0 のサービス情報一覧表示領域 7 2 5 に表示されている 1 つのサービス名称を選択すると、地方向けポータルサイトのサービス情報詳細基本情報画面 7 4 0（図 2 1 参照）に遷移する。

【0 0 5 1】

全国向けポータルサイト 1 0 0 z からサービス情報が公開されると、当該サービス情報を表示するサービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 c（図 2 2 参照）には、全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン 5 6 3（請求項に記載の操作ボタン）が配置される。全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン 5 6 3 がクリックされると、全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面 5 8 0（図 2 3 参照）に遷移する。本画面では、全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面 6 4 0（図 1 8 参照）と、地方向けポータルサイトから提供されるサービス情報詳細基本情報画面 7 4 0（図 2 1 参照）とが、比較できる。サービス情報の項目の表示順序は、全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面 6 4 0 を基準としている。

20

【0 0 5 2】

全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面 5 8 0 の地方向けポータルサイトを基準ボタン 5 8 2 がクリックされると、地方向けポータルサイトを基準ボタン 5 8 2 が全国向けポータルサイトを基準ボタン 5 8 4 に変わった全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面 5 8 0 b（図 2 4 参照）に遷移する。本画面でも、全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面 6 4 0 と、地方向けポータルサイトから提供されるサービス情報詳細基本情報画面 7 4 0 とが比較できる。サービス情報の項目の表示順序は、地方向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面 7 4 0 を基準としている。

30

全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面 5 8 0 b の全国向けポータルサイトを基準ボタン 5 8 4 がクリックされると全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面 5 8 0 に戻る。

以下、各画面（図 9～図 2 4）について詳細に説明する。

【0 0 5 3】

≪東西区向けホームページ画面（図 9）≫

図 9 は、本実施形態における全国向けポータルサイトに東西区職員がログインした直後のホームページ画面 5 0 0 の一例を示す図である。東西区職員 3 0 6 は、利用者識別情報または電子メールアドレスをログイン画面（不図示）に入力し、さらにパスワードを入力することで、サーバ 1 2 0 から認証され、ホームページ画面 5 0 0 を閲覧できる。

40

【0 0 5 4】

ホームページ画面 5 0 0 の最上部 5 0 1 には、ログインした利用者の氏名が表示され、ログアウトボタンが配置される。その下には、メニュー 5 0 2 が表示される。メニュー 5 0 2 には、「マイページ」メニュー 5 0 3 が含まれる。東西区職員が「マイページ」メニュー 5 0 3 の「事業者管理ページへ」サブメニュー（不図示）をクリックすると、サービス情報共有ページ画面 5 2 0（後述する図 1 0 参照）に遷移する。

【0 0 5 5】

メニュー 5 0 2 の下は、新着の一般公開地域資源表示領域 5 0 4 であり、一定時間ごと

50

に表示内容が横方向にスクロールする。新着の一般公開地域資源表示領域504に表示される情報は、利用者登録において指定した地域で提供される情報に絞り込まれる。

新着の一般公開地域資源表示領域504の下には、キーワード、カテゴリ、住所、詳細条件を指定しての地域資源を検索するためのテキストボックスやボタンが配置される。

【0056】

キーワードによる検索505では、キーワード検索テキストボックスにキーワードが入力され、キーワード検索ボタンがクリックされると、端末110がキーワードをサーバ120に送信する。サーバ120は、地域資源DB140（図6参照）のなかの公開情報（一般公開地域資源情報、状態153が一般公開であるレコード）を検索して、入力したキーワードに関連する一般公開されたサービス情報を端末110に送信し、端末110が受信した一般公開されたサービス情報を端末110のディスプレイ（不図示）に表示する。

10

【0057】

カテゴリによる検索506では、8つのカテゴリで一般公開地域資源情報を検索できる。健康・生きがい、家事援助・介助など8つのカテゴリがあり、対応するボタンがクリックされると、そのカテゴリに含まれる一般公開地域資源情報が検索されて一覧表示される。

住所による検索507では、郵便番号ないしは住所を指定して一般公開地域資源情報を検索できる。詳細条件による検索508では、カテゴリや住所、サービス対象者の条件などを組み合わせた条件で一般公開地域資源情報を検索できる。

20

【0058】

《東西区向けサービス情報入力関連の画面（図10～図12）》

図10は、本実施形態における東西区向けのサービス情報共有ページ画面520の一例を示す図である。本画面520は、東西区職員である鈴木太郎さん（画面最上部521参照）の端末110に表示される。ホームページ画面500の「マイページ」メニューの「事業者管理ページへ」サブメニュー（不図示）がクリックされると、本画面に遷移する。

サービス情報共有ページ画面520の最上部521には、ログインした利用者の氏名と所属する事業者の名称とが表示され、ログアウトボタンが配置される。その下には、メニュー522が表示される。

【0059】

サービス情報一覧表示領域525には、東西区職員が共有しているサービス情報が表示される。1行に1つのサービス情報が表示される。サービス情報には、サービス情報の更新日、サービス名称、サービス提供元、サービスのカテゴリ、サービスに対する評価点数、サービス情報が全国向けポータルサイト100zに提供済みか否かが含まれる。サービス名称はハイパーリンクになっており、このリンクがクリックされると、当該サービス情報のサービス情報詳細基本情報画面560（後述する図13参照）に遷移する。

30

【0060】

サービス情報の新規作成ボタン524は、サービス情報を新規に登録する画面であるサービス情報新規作成画面540（後述する図11）に遷移するときにクリックされるボタンである。一覧表示ボタン526は、サービス情報一覧画面（不図示）に遷移するときにクリックされるボタンである。

40

【0061】

図11は、本実施形態における東西区向けのサービス情報新規作成画面540の一例を示す図である。図12は、本実施形態における東西区向けのサービス情報新規作成画面であって、非公開項目入力フォームを伴ったサービス情報新規作成画面540aの一例を示す図である。サービス情報共有ページ画面520（図10参照）のサービス情報の新規作成ボタン524がクリックされると、サービス情報新規作成画面540に遷移する。

【0062】

サービス情報入力領域541には、サービス情報が入力される。サービス情報の入力項目としては、サービス情報の区分（ケアマネ、訪問、通所、ショートステイ、福祉用具、施設、地域密着型サービス、医療・薬局など）、サービス提供元名称、サービス提供元住

50

所、サービス提供元HP、サービス提供元情報、介護保険事業者番号、事業者区分（行政、民間、NPO（Non-Profit Organization）・ボランティア）、問い合わせ先情報、サービス名称、カテゴリ（図9の符号506参照）、サービス概要、入浴情報、駐車場情報、車椅子情報、送迎、入浴施設、定員、サービス説明HP、対象エリア、サービス提供場所、対象者、有償／無償の区別、料金、申込み方法、備考などがある。

【0063】

非公開項目追加ボタン544がクリックされると、非公開情報が入力できるサービス情報新規作成画面540a（図12参照）に遷移する。非公開情報を入力するときには、非公開情報の項目名称542（図12参照）と項目内容543とを入力する。非公開項目追加ボタン544が再びクリックされれば、項目名称542と項目内容543の非公開情報入力域が複数表示され、複数の非公開情報項目が入力可能となる。

10

非公開情報には、一般公開されない情報が入力される。例えば、サービス対象者に制限があるが一般の地域住民には知られたくない情報やサービス提供の担当者の連絡先など東西区職員だけが知っていればよい情報などが入力される。

【0064】

キャンセルボタン545がクリックされると、クリックされるまでサービス情報入力領域541や非公開情報の項目名称542、項目内容543に入力された情報が破棄され、サービス情報共有ページ画面520に戻る。

作成ボタン546がクリックされるとサービス情報入力領域541に入力された情報がサービス公開情報DB160に格納され、非公開情報の項目名称542と項目内容543とに入力された情報がサービス非公開情報DB180に格納される。格納の後に、サービス情報詳細基本情報画面560（後述する図13）に遷移する。

20

【0065】

以下、入力されたサービス情報が格納される処理を詳しく説明する。入力されたサービス情報は、端末110からサーバ120に送信される。サーバ120は、送信されたサービス情報のなかで、サービス情報入力領域541に入力された情報は公開情報でありサービス公開情報DB160に格納し、非公開情報の項目名称542と項目内容543とに入力された情報はサービス非公開情報DB180に格納する。

【0066】

詳しくは、サーバ120は、サービス公開情報DB160にレコードを1つ追加し、入力された情報に対応した属性に格納する。例えば、区分は区分162に、サービス名称は名称163に、サービス提供元名称は提供元164に、サービス提供元住所は提供元住所165に、料金は料金166に、申込み方法は申込方法167、備考は備考168に格納する。

30

【0067】

サーバ120は、サービス情報ID161には、サービス情報の識別情報を生成して格納し、一般公開171には非公開を示す「N」を、ポータル提供173には未提供を示す「N」を格納する。一般公開日172とポータル提供日174とは空白または無効値が格納される。

【0068】

非公開情報があれば、サーバ120は、サービス非公開情報DB180にレコードを追加して、サービス公開情報DB160のサービス情報ID161に格納したサービス情報の識別情報をサービス情報ID181に格納する。さらにサーバ120は、非公開情報の項目名称542を項目名182に、項目内容543を項目内容183に格納する。サービス非公開情報DB180へのレコード追加と属性の格納は、非公開情報の項目数だけ繰り返される。

40

【0069】

《東西区向けサービス情報詳細関連の画面（図13～図15）》

図13は、本実施形態における東西区向けのサービス情報詳細基本情報画面560の一例を示す図である。サービス情報新規作成画面540の作成ボタン546がクリックされ

50

たとき、サービス情報共有ページ画面 5 2 0 のサービス情報一覧表示領域 5 2 5 内にあるサービス名称のハイパーリンクがクリックされたときに本画面に遷移する。

【0070】

基本情報タブ 5 6 4 は、強調されており、本画面がサービス情報詳細の基本情報を表示していることを示している。コメントタブ 5 6 5 がクリックされると、当該サービス情報に対する東西区職員が投稿したコメントを表示する画面（不図示）に遷移する。空き情報タブ 5 6 6 がクリックされると、当該サービスの曜日ごとの空き情報を表示する画面（不図示）に遷移する。

【0071】

サービス公開情報表示領域 5 6 7 には、当該サービス情報なかの公開情報が表示される。サービス公開情報表示領域 5 6 7 の情報は、サービス情報新規作成画面 5 4 0 のサービス情報入力領域 5 4 1 に入力された情報であり、サービス公開情報 DB 1 6 0 に格納された情報である。

10

【0072】

サービス非公開情報表示領域 5 6 8 には、当該サービス情報なかの非公開情報が表示される。サービス非公開情報表示領域 5 6 8 の情報は、サービス情報新規作成画面 5 4 0 a の非公開情報の項目名称 5 4 2 と項目内容 5 4 3 とに入力された情報であり、サービス非公開情報 DB 1 8 0 に格納された情報である。

戻るボタン 5 6 9 がクリックされると、サービス情報共有ページ画面 5 2 0（図 1 0 参照）に遷移する。

20

【0073】

当該サービス情報を一般公開するときには、東西区職員は一般公開するボタン 5 6 1 をクリックして、サーバ 1 2 0 に当該サービス情報の一般公開を指示する。詳しくは、一般公開するボタン 5 6 1 がクリックされると、端末 1 1 0 がサーバ 1 2 0 に画面に表示されているサービス情報の識別情報（サービス情報 ID）を送信する。サーバ 1 2 0 はサービス情報 ID を受信し、サービス公開情報 DB 1 6 0 のレコードでサービス情報 ID 1 6 1 が受信したサービス情報 ID であるレコードの一般公開 1 7 1 を「Y」に変更し、さらに一般公開日 1 7 2 を現在日に更新する。続いて、サーバ 1 2 0 は、サービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 a の画面データを端末 1 1 0 に送信し、画面データを受信した端末 1 1 0 はサービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 a（後述する図 1 4 参照）を表示する。

30

【0074】

図 1 4 は、本実施形態における東西区向けのサービス情報詳細基本情報画面であって、地方向けポータルサイトから一般公開されたサービス情報のサービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 a の一例を示す図である。サービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 a は一般公開された後のサービス情報詳細を表示する画面であり、サービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 の一般公開ボタンする 5 6 1 を一般公開済ラベル 5 6 1 a に替えた画面である。

【0075】

画面に表示されたサービス情報を全国向けポータルサイト 1 0 0 z に提供するときには、東西区職員は全国ポータル提供ボタン 5 6 2 をクリックして、サーバ 1 2 0 に当該サービス情報の全国向けポータルサイトへの提供を指示する。全国向けポータルサイトへの提供処理は、図 2 5 を参照して、後述する。全国ポータル提供ボタン 5 6 2 がクリックされた後は、サービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 b に（後述する図 1 5 参照）遷移する。

40

【0076】

図 1 5 は、本実施形態における東西区向けのサービス情報詳細基本情報画面であって、全国向けポータルサイトへ提供されたサービス情報のサービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 b の一例を示す図である。サービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 a と比較して、全国ポータル提供ボタン 5 6 2 が全国ポータル提供済ラベル 5 6 2 b に替わっている。全国向けポータルサイトに提供されたサービス情報が一般公開される（図 1 記載の（3）参照）と、さらに全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン 5 6 3 が追加される（後述する図 2 2 参照）。

50

【0077】

《全国向けポータルサイトが提供するサービス情報関連の画面（図16～図18）》

図16は、本実施形態における全国向けポータルサイトに地域住民がログインした直後のホームページ画面600の一例を示す図である。東西区の地域住民301が利用者識別情報または電子メールアドレスをログイン画面（不図示）に入力し、さらにパスワードを入力することで、サーバ120から認証され、ホームページ画面600を閲覧できる。

ホームページ画面600の最上部601には、ログインした利用者の氏名が表示され、ログアウトボタンが配置される。その下には、メニュー602が表示される。

【0078】

メニュー602の下は、東西区職員がログインした直後のホームページ画面500と同様に、新着の一般公開地域資源表示領域504、キーワードによる検索505、カテゴリによる検索506、住所による検索507、詳細条件による検索508が配置されている。検索対象となるデータは、地域資源DB140のレコードのなかで、状態153が一般公開になったレコードである。状態153が一般公開であるレコードのなかで、検索条件に合ったレコードを検索することで、上記の検索が可能となる。

住所による検索507が実行されると、地域住民向けのサービス情報一覧画面620（後述する図17参照）に遷移する。

【0079】

図17は、本実施形態における全国向けポータルサイトが提供する地域住民向けのサービス情報一覧画面620の一例を示す図である。ホームページ画面600（図16参照）の住所による検索507が実行されると本画面に遷移する。

現在の検索条件表示領域621には、表示時点の検索条件が表示される。

リストボタン622とマップボタン623とで、サービス情報一覧の表示方法を変更することができる。図17では、リストボタン622が選択されており、サービス情報一覧表示領域625に一覧表の形式でサービス情報が表示されている。ドロップダウンリスト624で1画面当たりの表示件数を変更することができる。マップボタン623がクリックされると、地図上にサービス情報が表示される。

【0080】

サービス情報一覧表示領域625には、検索条件表示領域621に表示された条件に合致するサービス情報が表示される。サービス名称はハイパーリンクになっており、このリンクがクリックされると、当該サービス情報の詳細を表示するサービス情報詳細基本情報画面640（後述する図18参照）に遷移する。

戻るボタン626がクリックされると、ホームページ画面600に戻る。

【0081】

図18は、本実施形態における全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面640の一例を示す図である。サービス情報一覧画面620（図17参照）のサービス情報一覧表示領域625にあるサービス名称がクリックされると本画面に遷移する。サービス名称がクリックされると、当該サービスに対応したサービス情報IDが端末110からサーバ120に送信され、サーバ120がサービス情報IDをサービス情報ID141にもつレコードを地域資源DB140のなかで検索することで、サービス情報詳細が得られる。

【0082】

サービス情報詳細表示領域642には、サービス情報一覧画面620のサービス情報一覧表示領域625にあり、クリックされたサービス名称にあたるサービス情報の詳細が表示される。サービス情報詳細表示領域642に表示されるサービス情報は、地域資源DB140（図6参照）に格納されているサービス情報である。

戻るボタン643がクリックされると、前の画面であるサービス情報一覧画面620に遷移する。

【0083】

サービス情報詳細表示領域642に表示されるサービス情報の項目や表示順序は、サー

10

20

30

40

50

ビス情報詳細画面項目定義ファイル360（図7（b）参照）により定義される。詳しくは、サービス情報詳細画面項目定義ファイル360は、1行は1項目を示し、各行は各項目の画面に表示される項目名称361と項目内容が格納されている地域資源DB140の属性362を示している。

1番目の項目の名称は「サービス名称」であり、項目の内容は地域資源DB140の名称143の内容である。2番目の項目の名称は「サービス概要」であり、項目の内容は地域資源DB140の概要149の内容である。続く他の項目も同様であって、サービス情報詳細画面項目定義ファイル360に記載された項目の順序で表示される。

【0084】

≪地方向けポータルサイトが提供する一般公開のサービス情報関連の画面（図19～図21）≫

10

図19は、本実施形態における地方向けポータルサイトのホームページ画面700の一例を示す図である。東西区の介護保険説明ページ（不図示）の介護サービス情報提供ページボタン（不図示）がクリックされると、本画面に遷移する。

事業者の方はこちらボタン701がクリックされると、全国向けポータルサイトのログインページ（不図示）に遷移する。

【0085】

事業者の方はこちらボタン701の下には、東西区職員がログインした直後のホームページ画面500と同様に、キーワードによる検索702、カテゴリによる検索703、住所による検索705、詳細条件による検索706が配置されている。検索の方法は東西区職員がログインした直後のホームページ画面500と同様である。この他に、東西区内の地区による検索704も可能である。

20

【0086】

検索対象のデータは、地域資源DB140ではなく、サービス公開情報DB160（図4参照）のなかで一般公開済みの情報（一般公開171が「Y」であるレコード）である。一般公開171がYであるレコードのなかで、検索条件に合ったレコードを検索することで、上記の検索が可能となる。

住所による検索705が実行されると、地域住民向けのサービス情報一覧画面720（後述する図20参照）に遷移する。

【0087】

30

図20は、本実施形態における地方向けポータルサイトのサービス情報一覧画面720の一例を示す図である。ホームページ画面700の住所による検索705が実行されると本画面に遷移する。

現在の検索条件表示領域721には、表示時点の検索条件が表示される。

リストボタン722とマップボタン723とで、サービス情報一覧の表示方法を変更することができる。図20では、リストボタン722が選択されており、サービス情報一覧表示領域725に一覧表の形式でサービス情報が表示されている。ドロップダウンリスト724で1画面当たりの表示件数を変更することができる。マップボタン723がクリックされると、地図上にサービス情報が表示される。

【0088】

40

サービス情報一覧表示領域725には、検索条件表示領域721に表示された条件に合致するサービス情報が表示される。サービス名称はハイパーリンクになっており、このリンクがクリックされると、当該サービス情報の詳細を表示するサービス情報詳細基本情報画面740（後述する図21参照）に遷移する。

一覧印刷ボタン726は、検索条件表示領域721に表示された条件に合致するサービス情報の一覧を印刷するときをクリックされるボタンである。エクスポートボタン727は、検索条件表示領域721に表示された条件に合致するサービス情報の一覧を格納したファイルを端末110に出力するときをクリックされるボタンである。

【0089】

図21は、本実施形態における地方向けポータルサイトのサービス情報詳細基本情報画

50

面 7 4 0 の一例を示す図である。サービス情報一覧画面 7 2 0 (図 2 0 参照) のサービス情報一覧表示領域 7 2 5 にあるサービス名称がクリックされると本画面に遷移する。サービス名称がクリックされると、当該サービスに対応したサービス情報 I D が端末 1 1 0 からサーバ 1 2 0 に送信され、サーバ 1 2 0 がサービス情報 I D をサービス情報 I D 1 6 1 にもつレコードをサービス公開情報 D B 1 6 0 のなかで検索することで、サービス情報詳細が得られる。

【0090】

サービス情報詳細表示領域 7 4 2 には、サービス情報一覧画面 7 2 0 のサービス情報一覧表示領域 7 2 5 にあり、クリックされたサービス名称にあたるサービス情報の詳細が表示される。サービス情報詳細表示領域 7 4 2 に表示されるサービス情報は、サービス公開情報 D B 1 6 0 (図 4 参照) に格納されているサービス情報である。なお、全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面 6 4 0 (図 1 8 参照) のサービス情報詳細表示領域 6 4 2 に表示されるサービス情報は、地域資源 D B 1 4 0 (図 6 参照) に格納されているサービス情報である。

【0091】

サービス情報詳細表示領域 7 4 2 に表示されるサービス情報の項目や表示順序は、サービス情報詳細画面項目定義ファイル 3 7 0 (図 7 (c) 参照) により定義される。サービス情報詳細画面項目定義ファイル 3 7 0 は、全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面 6 4 0 のサービス情報詳細画面項目定義ファイル 3 6 0 とは異なる構造をしている。ファイルの上の部分 3 7 6 は、サービス情報詳細画面項目定義ファイル 3 6 0 と同様に、1 行は 1 項目を示し、各行は各項目の画面に表示される項目名称 3 7 1 と項目内容が格納されているサービス公開情報 D B 1 6 0 の属性 3 7 2 を示している。

【0092】

しかしながら、ファイルの下の部分 (3 7 7、3 7 8) は、項目が入れ子の構造になっている。入れ子の外側の項目を大分類の項目、入れ子の内側の項目を小分類の項目とも記す。画面に表示される項目名称 3 7 1 に対応する (大分類の項目の) 項目内容が複数の (小分類の) 項目になっていて、画面に表示される項目名称 3 7 4 と格納されているサービス公開情報 D B 1 6 0 の属性 3 7 5 が複数行になっている。大分類の項目である項目名称 3 7 1 が「サービス情報」である項目内容には、項目名称 3 7 4 が「サービス概要」であり項目内容がサービス公開情報 D B 1 6 0 の概要 1 6 9 の属性である小分類の項目が含まれる。さらに、項目名称 3 7 4 が「料金」であり項目内容がサービス公開情報 D B 1 6 0 の料金 1 6 6 の属性である小分類の項目他も含まれる。

戻るボタン 7 4 3 がクリックされると、前の画面であるサービス情報一覧画面 7 2 0 に戻る。

【0093】

≪全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面 (図 2 3、図 2 4) ≫

図 2 2 は、本実施形態における東西区向けのサービス情報詳細基本情報画面であって、全国向けポータルサイトへ提供されたサービス情報が公開された後のサービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 c の一例を示す図である。全国向けポータルサイトから公開される前のサービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 b (図 1 5 参照) と比較して、全国/地方向けポータルサイトの比較ボタン 5 6 3 (請求項に記載の操作ボタン) が追加で配置される。したがって、全国向けポータルサイト (第 2 の情報提供サービス) に情報提供されたことのあるサービス情報 (第 1 のサービス情報) を表示させる際に、全国/地方向けポータルサイトの比較ボタン 5 6 3 が配置されることになる。全国/地方向けポータルサイトの比較ボタン 5 6 3 がクリックされると、サービス情報詳細比較画面 5 8 0 (後述する図 2 3 参照) に遷移する。

【0094】

全国向けポータルサイトへ提供されたサービス情報が公開されたか否かは、状態 1 5 3 (図 6 参照) を参照すれば判断できる。状態 1 5 3 が「一般公開」であれば、サービス情

報詳細基本情報画面 560c に、全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン 563 が含まれる。

以下、全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン 563 がクリックされてからの処理を説明する。全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン 563 がクリックされると、端末 110 は、サービス情報詳細基本情報画面 560c に表示されたサービス情報のサービス ID をサーバ 120 に送信する。サーバ 120 は、受信したサービス ID を含むレコードを地域資源 DB 140 とサービス公開情報 DB 160 とでそれぞれ検索して、レコードにあるサービス情報を取得する。サービス情報取得後の画面データ生成処理は、図 26 を参照して後述する。

【0095】

10

図 23 は、本実施形態における全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面であって、全国向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面 580 の一例を示す図である。画面最上部 521 とメニュー 522 とは図示していない。サービス情報詳細基本情報画面 560c (図 22 参照) の全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン 563 がクリックされると、本画面に遷移する。

【0096】

サービス情報詳細比較画面 580 の左側 593 には、全国向けポータルサイト 100z が提供するサービス情報詳細基本情報画面 640 (図 18 参照) のサービス情報詳細表示領域 642 に表示される情報が表示されている。表示されているサービス情報の項目の順序や内容は、サービス情報詳細表示領域 642 と同一である。

20

【0097】

サービス情報詳細比較画面 580 の右側 594 には、地方向けポータルサイトから提供されるサービス情報詳細基本情報画面 740 (図 21 参照) のサービス情報詳細表示領域 742 に表示される情報が表示されている。表示されているサービス情報の項目の順序や内容は、サービス情報詳細表示領域 742 と異なり、全国向けポータルサイト 100z が提供するサービス情報詳細基本情報画面 640 のサービス情報詳細表示領域 642 に表示される項目の順序 (左側 593 にある項目の順序) に合わせて、項目を表示している。さらに、項目内容が左側 593 と右側 594 とで異なっている項目であるサービス概要の項目 591 と料金の項目 592 とは強調表示されている。また、対応する項目が横並びになるように項目の高さが調整されている。例えば、料金の項目 592 には 1 行表示されているが、項目の高さは 2 行分になっている。

30

【0098】

スクロールバー 588 が操作されると、左側 593 と右側 594 の両方の画面がスクロールし、同じ項目が表示されるようになっていく。

全国向けポータルサイトのページボタン 585 がクリックされると、全国向けポータルサイト 100z が提供する当該サービスのサービス情報詳細基本情報画面 640 に遷移する。地方向けポータルサイトのページボタン 586 がクリックされると、地方向けポータルサイトが提供しているサービス情報詳細基本情報画面 740 (図 21 参照) に遷移する。地方向けポータルサイトを基準ボタン 582 がクリックされると、地方向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面 580b (後述する図 24) に遷移する。

40

戻るボタン 587 がクリックされると、サービス情報詳細基本情報画面 560c (図 22 参照) に遷移する。

【0099】

図 24 は、本実施形態における全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面であって、地方向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面 580b の一例を示す図である。画面最上部 521 とメニュー 522 とは図示していない。全国向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面 580 (図 23 参照) の地方向けポータルサイトを基準ボタン 582 がクリックされると本画面に遷移する。

サービス情報詳細比較画面 580b の右側 596 には、地方向けポータルサイトが提供

50

しているサービス情報詳細基本情報画面 7 4 0 のサービス情報詳細表示領域 7 4 2 に表示される情報が表示されている。表示されているサービス情報の項目の順序や内容、形式は、サービス情報詳細表示領域 7 4 2 と同一である。

【0100】

サービス情報詳細比較画面 5 8 0 b の左側 5 9 5 には、全国向けポータルサイト 1 0 0 z が提供するサービス情報詳細基本情報画面 6 4 0 のサービス情報詳細表示領域 6 4 2 に表示される情報が表示されている。表示されているサービス情報の項目の順序や内容は、サービス情報詳細表示領域 6 4 2 と異なり、地方向けポータルサイトが提供しているサービス情報詳細基本情報画面 7 4 0 のサービス情報詳細表示領域 7 4 2 にある項目の順序（右側 5 9 6 にある項目の順序）に合わせて、項目を表示している。さらに、項目内容が右側 5 9 6 と左側 5 9 5 とで異なっている項目であるサービス提供元住所 5 9 7 とサービス概要 5 9 8 と料金 5 9 9 とは強調表示されている。

10

全国向けポータルサイトを基準ボタン 5 8 4 がクリックされると、全国向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面 5 8 0 に遷移する。

【0101】

《サービス情報の全国向けポータルサイトへの提供処理》

図 2 5 は、本実施形態におけるサーバ 1 2 0 が実行するサービス情報の全国向けポータルサイトへの提供処理を示すフローチャートである。図 2 5 を参照しながら、図 1 の（2）にあたる、サービス公開情報 DB 1 6 0 から地域資源 DB 1 4 0 にサービス情報を提供する処理を説明する。本処理は、東西区職員がサービス情報詳細基本情報画面 5 6 0 a （図 1 4 参照）の全国ポータル提供ボタン 5 6 2 をクリックして、端末 1 1 0 がサーバ 1 2 0 に当該サービス情報のサービス情報 ID を送信して、当該サービス情報の全国向けポータルサイトへの提供を指示することで始まる。

20

【0102】

ステップ S 8 0 1 において、サーバ 1 2 0 は、端末からサービス情報 ID を受信する。

ステップ S 8 0 2 において、サーバ 1 2 0 は、地域資源 DB 1 4 0 にレコードを追加し、サービス公開情報 DB 1 6 0 にあるサービス情報のレコードの項目をコピーする。詳しくは、サーバ 1 2 0 は、サービス公開情報 DB 1 6 0 にあるレコードであって、そのサービス情報 ID 1 6 1 がステップ S 8 0 1 で受信したサービス情報 ID であるレコードの属性値（項目内容）を地域資源 DB 1 4 0 にコピーする。したがって、サービス公開情報 DB 1 6 0 （第 1 のデータベース）に登録されているレコード（第 1 のサービス情報）を全国向けポータルサイト（第 2 の情報提供サービス）でも公開されるように地域資源 DB 1 4 0 （第 2 のデータベース）への登録候補としてコピーされることになる。コピーする項目は、サービス情報 ID 1 6 1、区分 1 6 2、名称 1 6 3、提供元 1 6 4、概要 1 6 9、料金 1 6 6、申込方法 1 6 7、備考 1 6 8 などである。コピー先は、地域資源 DB 1 4 0 に追加したレコードのサービス情報 ID 1 4 1、区分 1 4 2、名称 1 4 3、提供元 1 4 4、概要 1 4 9、料金 1 4 6、申込方法 1 4 7、備考 1 4 8 などである。サービス情報 ID 1 6 1 以外の項目は、東西区職員が、サービス情報新規作成画面 5 4 0 （図 1 1 参照）から入力した項目である。一般公開 1 7 1、一般公開日 1 7 2、ポータル提供 1 7 3、ポータル提供日 1 7 4 はコピーされない。

30

40

【0103】

ステップ S 8 0 3 において、サーバ 1 2 0 は、ステップ S 8 0 2 で地域資源 DB 1 4 0 に追加した新しいレコードの情報提供元 1 5 1、情報提供日 1 5 2 などの項目を設定する。具体的には、サーバ 1 2 0 は、情報提供元 1 5 1 はサービス提供元である東西区、情報提供日 1 5 2 は現在日、状態 1 5 3 は新規、承認日 1 5 4 と公開日 1 5 5 とは空白（無効値）とする。

ステップ S 8 0 4 において、サーバ 1 2 0 は、ポータル提供 1 7 3 を「Y」に、ポータル提供日 1 7 4 を現在日に更新する。詳しくは、サーバは、サービス情報 ID 1 6 1 がステップ S 8 0 1 で受信したサービス情報 ID であるレコードを検索して、当該レコードのポータル提供 1 7 3 を「Y」に、ポータル提供日 1 7 4 を現在日に更新する。

50

【0104】

ステップS805において、サーバ120は、サービス情報が提供されたことを全国向けポータルサイト運営者307に通知する。

ステップS806において、サーバ120は、全国ポータル提供済ラベル562bを含んだサービス情報詳細基本情報画面560b（図15参照）の画面データを生成する。

ステップS807において、サーバ120は、ステップS806で生成した画面データを端末110に送信する。

【0105】

以後、画面データを受信した端末110は、サービス情報詳細基本情報画面560bを表示する。この時点で、サービス公開情報DB160にあるサービス情報と同じ情報が地域資源DB140に格納されているが、状態153は新規であり、全国向けポータルサイトとしては当該サービス情報を一般公開していない。

10

【0106】

この後に、全国向けポータルサイト運営者307は以下の作業を行う。

（1）当該サービスの提供元144に問い合わせるなどして、当該サービス情報を変更する。変更内容としては、例えば、新規加入者への特別料金や計画している催し物の告知などがある。変更すると、状態153は更新となる。

（2）変更したサービス情報を一般公開することの承認を、東西区職員に求める。この時点で、状態153は承認依頼となる。

（3）東西区職員から、当該サービス情報の一般公開の承認を得る。この時点で、状態153は承認済みとなる。

20

（4）当該サービス情報を一般公開する。この時点で、状態153は一般公開となる。

情報提供元である東西区承認を求めない場合には、（2）と（3）を省略する。

【0107】

地域資源DB140にあるレコードの状態153が一般公開となることで、全国向けポータルサイトのホームページ画面600（図16参照）での検索対象となる。地域住民が実行する検索の条件に合致するとサービス情報一覧画面620（図17参照）に表示され、地域住民が同画面のサービス名称をクリックすることでサービス情報詳細基本情報画面640（図18参照）に表示される。

【0108】

30

《全国向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面の画面データの生成処理》

図26は、本実施形態におけるサーバ120が実行する全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面580の画面データの生成処理を示すフローチャートである。図26を参照しながら、図1の（6）にあたる、全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面（580と580b）の画面比較領域（581、581b）を生成する処理を説明する。

【0109】

最初に、全国向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面580の画面比較領域581を説明する。全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面640（図18参照）が基準であり、項目定義ファイルはサービス情報詳細画面項目定義ファイル360（図7（b）参照）である。基準でない画面は地方向けポータルサイトのサービス情報詳細基本情報画面740（図21参照）であり、サービス情報詳細画面項目定義ファイル370（図7（c）参照）がその項目定義ファイルである。以下、2つの項目定義ファイルを参照しながら画面比較領域581にある項目が上から順に画面データとして出力される処理を説明する。

40

【0110】

ステップS821において、サーバ120は、基準となるサービス情報詳細画面の定義ファイルに含まれる大分類の項目ごとにステップS822～ステップS836までの処理を繰り返す。サービス情報詳細画面項目定義ファイル360には、小分類の項目はなく大

50

分類の項目（サービス名称、サービス概要、…、サービス対象者、料金）のみが含まれている。

ステップS 8 2 2において、サーバ1 2 0は、基準となるサービス情報詳細画面の定義ファイルに含まれる大分類の項目の項目名称を出力する。サービス情報詳細画面項目定義ファイル3 6 0の場合には、ステップS 8 2 1～ステップS 8 3 7のループが回るたびに、「サービス名称」、「サービス概要」、…、「サービス対象者」、「料金」の順に項目名称が出力される。

【0 1 1 1】

ステップS 8 2 3において、サーバ1 2 0は、大分類の項目内容に小分類の項目が存在するか判断して、存在する（Y）ならばステップS 8 2 9に進み、存在しない（N）ならばステップS 8 2 4に進む。サービス情報詳細画面項目定義ファイル3 6 0の場合には、小分類の項目は存在しないので、ステップS 8 2 4に進む。以下、ステップS 8 2 4以降を説明し、ステップS 8 2 9以降の処理は後述する。

10

【0 1 1 2】

ステップS 8 2 4において、サーバ1 2 0は、基準となるサービス情報詳細画面の定義ファイルに含まれる大分類の項目の項目内容を出力する。項目内容は、基準となるサービス情報詳細画面の元となるデータベースの該当属性から取得する。基準となる画面は、全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面6 4 0であるので、地域資源DB 1 4 0から項目内容を取得する。サービス情報詳細画面項目定義ファイル3 6 0の場合には、ステップS 8 2 1～ステップS 8 3 7のループが回るたびに、名称1 4 3、概要1 4 9、…、対象者（不図示）、料金1 4 6の順に項目内容（属性値）が出力される。

20

【0 1 1 3】

ステップS 8 2 5において、サーバ1 2 0は、基準でないサービス情報詳細の対応する項目名称を出力する。対応する項目は、基準でない画面の項目定義ファイルであるサービス情報詳細画面項目定義ファイル3 7 0から得ることができる。例えば、名称と概要に対する項目は、サービス情報詳細画面項目定義ファイル3 7 0の1行目（図7（c）の符号3 7 6参照）と4行目（符号3 7 7参照）からそれぞれ取得することができ、それぞれの項目名称は「サービス名称」と「サービス概要」であることがわかる。

【0 1 1 4】

ステップS 8 2 6において、サーバ1 2 0は、基準でないサービス情報詳細の対応する項目内容を出力する。項目内容は、基準でないサービス情報詳細画面の元となるデータベースの該当属性から取得する。ステップS 8 2 1～ステップS 8 3 7のループが回るたびに、サービス公開情報DB 1 6 0の名称1 6 3、概要1 6 9、…、対象者（不図示）、料金1 6 6の順に項目内容（属性値）が出力される。

30

【0 1 1 5】

ステップS 8 2 7において、サーバ1 2 0は、ステップS 8 2 4とステップS 8 2 6とで出力した項目内容が異なる場合には、基準でない項目を強調する。全国向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面5 8 0の画面比較領域5 8 1では、サービス概要の項目5 9 1と料金の項目5 9 2との項目内容が異なり、項目の枠が強調されている。

40

ステップS 8 2 8において、基準となるサービス情報詳細の項目と基準ではないサービス情報詳細の項目との高さが同じになるように項目の高さを調整する。

ステップS 8 3 7において、サーバ1 2 0は、基準となるサービス情報詳細画面の定義ファイルに含まれる大分類の全ての項目を処理したか判断し、全ての項目を処理した場合には本処理を終了する。処理していない場合には、サーバ1 2 0は、次の大分類の項目についてステップS 8 2 2以降の処理を繰り返す。

【0 1 1 6】

《地方向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面の画面データの生成処理》

50

続いて、地方向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面 580b の画面比較領域 581b を説明する。地方向けポータルサイトのサービス情報詳細基本情報画面 740（図 21 参照）が基準であり、項目定義ファイルはサービス情報詳細画面項目定義ファイル 370（図 7（c）参照）である。基準でない画面は全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面 640（図 18 参照）であり、サービス情報詳細画面項目定義ファイル 360（図 7（b）参照）がその項目定義ファイルである。以下、2つの項目定義ファイルを参照しながら画面比較領域 581b にある項目が上から順に画面データとして出力される処理を説明する。

【0117】

ステップ S821 において、サーバ 120 は、基準となるサービス情報詳細画面の定義ファイルに含まれる大分類の項目ごとにステップ S822～ステップ S836 までの処理を繰り返す。項目定義ファイルには、大分類の項目としてのサービス名称や提供元名称（図 7（c）の符号 376 参照）、サービス情報（符号 377 参照）、問い合わせ（符号 378 参照）が含まれている。なお、大分類の項目であるサービス情報には、小分類の項目としてのサービス概要や料金（符号 377 参照）が含まれている。また、大分類の項目である問い合わせ先には、電話番号（符号 378 参照）が含まれている。

10

【0118】

ステップ S822 において、サーバ 120 は、基準となるサービス情報詳細画面の定義ファイルに含まれる大分類の項目の項目名称を出力する。サービス情報詳細画面項目定義ファイル 370 の場合には、ステップ S821～ステップ S837 のループが回るたびに、「サービス名称」、「提供元名称」、・・・、「サービス情報」、「問い合わせ」の順に項目名称が出力される。

20

【0119】

ステップ S823 において、サーバ 120 は、大分類の項目内容に小分類の項目が存在するか判断して、存在する（Y）ならばステップ S829 に進み、存在しない（N）ならばステップ S824 に進む。ステップ S821～ステップ S837 のループが回る場合、サービス名称と提供元名称のとき（符号 376 参照）には小分類はなくステップ S824 に進み、サービス情報（符号 377 参照）と問い合わせ（符号 378 参照）のときには小分類があるので S829 に進む。ステップ S824 以降の処理は説明済みなので、ステップ S829 以降の処理を説明する。大分類の項目としてサービス情報であり、小分類の項目としてサービス概要と料金がある場合（符号 377 参照）を例に説明する。

30

【0120】

ステップ S829 において、サーバ 120 は、小分類の項目ごとにステップ S830～ステップ S835 までの処理を繰り返す。今の場合、1回目のループでサービス概要、2回目のループで料金と繰り返す。

ステップ S830 において、サーバ 120 は、基準となるサービス情報詳細画面の項目定義ファイルに含まれる小分類の項目の項目名称を出力する。今の場合、ステップ S829～ステップ S836 のループが回るたびに、1回目で「サービス概要」と出力し、2回目に「料金」と出力する。

【0121】

40

ステップ S831 において、サーバ 120 は、基準となるサービス情報詳細画面の項目定義ファイルに含まれる小分類の項目の項目内容を出力する。項目内容は、基準となるサービス情報詳細画面の元となるデータベースの該当属性から取得する。基準となる画面は、地方向けポータルサイトのサービス情報詳細基本情報画面 740 であるので、サービス公開情報 DB 160 から項目内容を取得する。サービス情報詳細画面項目定義ファイル 370 の場合には、ステップ S829～ステップ S836 のループが回るたびに、概要 169、料金 166 の内容が順に出力される。

【0122】

ステップ S832 において、サーバ 120 は、基準でないサービス情報詳細の対応する項目名称を出力する。対応する項目は、基準でない画面の項目定義ファイルであるサービ

50

ス情報詳細画面項目定義ファイル360から得ることができる。例えば、概要に対する項目は、サービス情報詳細画面項目定義ファイル360の2行目(図7(b)参照)から取得することができ、項目名称は「サービス概要」であることがわかる。

【0123】

ステップS833において、サーバ120は、基準でないサービス情報詳細画面の定義ファイルに含まれる項目の項目内容を出力する。項目内容は、基準でないサービス情報詳細画面の元となるデータベースの該当属性から取得する。基準でない画面は、全国向けポータルサイトが提供するサービス情報詳細基本情報画面640であるので、地域資源DB140から項目内容を取得する。ステップS829～ステップS836のループが回るたびに、概要149、料金146の順に項目内容(属性値)が出力される。

10

【0124】

ステップS834において、サーバ120は、ステップS831とステップS833とで出力した項目内容が異なる場合には、基準でない項目を強調する。地方向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面580bの画面比較領域581bでは、サービス提供元住所の項目597とサービス概要の項目598と料金の項目592との項目内容が異なり、項目の枠が強調される。

ステップS835において、基準となるサービス情報詳細の項目と基準ではないサービス情報詳細の項目との高さが同じになるように項目の高さを調整する。

【0125】

ステップS836において、サーバ120は、大分類の項目に含まれる全ての小分類の項目を処理したか判断し、全ての項目を処理した場合にはステップS837に進み、処理していない場合には、次の小分類の項目についてステップS830以降の処理を繰り返す。

20

ステップS837において、サーバ120は、基準となるサービス情報詳細画面の項目定義ファイルに含まれる大分類の全ての項目を処理したか判断し、全ての項目を処理した場合には本処理を終了する。処理していない場合には、サーバ120は、次の大分類の項目についてステップS822以降の処理を繰り返す。

【0126】

≪変形例≫

上記実施形態では、全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面において、2つのサービス情報詳細画面を横に並べていた。縦に並べるようにしてもよい。図27は、本実施形態の変形例における全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面であって、全国向けポータルサイトを基準とするサービス情報詳細比較画面580cの一例を示す図である。全国向けポータルサイトのサービス情報詳細比較画面が上側593cに、地方向けポータルサイトのサービス情報詳細比較画面が下側594cに配置されている。

30

【0127】

スクロールバー583は上側に配置されており、スクロールバー583を操作すると、上側593cの領域だけではなく、下側594cも同時にスクロールして、常に同じ項目を表示するようにしている。下側594cにもスクロールバーを配置して、いずれのスクロールバーを操作しても、2つの画面が同時にスクロールして、常に同じ項目を表示するようにしてもよい。

40

【0128】

上記実施形態では、全国向けポータルサイトが公開しているサービス情報について、全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン563を配置して、サービス情報詳細比較画面に遷移していた。全国向けポータルサイトがサービス情報を公開しているか否かは、状態153が「一般公開」か否かで判断できる。一般公開されていない場合でも、全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン563を配置して、サービス情報詳細比較画面に遷移できるようにしてもよい。

【0129】

50

図28は、本実施形態の変形例における全国向けポータルサイトと地方向けポータルサイトとのサービス情報詳細比較画面であって、全国向けポータルサイトで公開されていないサービス情報のサービス情報詳細比較画面580dの一例を示す図である。サービス情報が公開されていないことが、左側595の画面表示から判断できる。状態153が「承認依頼」または「承認済」ならば、「公開予定」と表示してもよい。また、状態153に「一般公開中止」を新たに設けて、「一般公開中止」と表示してもよい。

【0130】

上記実施形態では、全国向けポータルサイトから提供されるサービス情報詳細の項目と地方向けポータルサイトから提供されるサービス情報詳細の項目とについて、その名称や内容は異なる場合がある。しかし、項目自体は同じであり、地域資源DB140とサービス公開情報DB160の一般公開される項目は同じであった。東西区から提供されたサービス情報に全国向けポータルサイトが独自に項目を付加したり、項目を削除して、全国向けポータルサイトから一般公開してもよい。この場合の比較画面では、対応する項目がない場合には、項目内容が異なるとして強調されて表示される。

【0131】

異なる内容の項目を強調するのに、上記実施形態では、項目の欄の枠を太くしていた。この他の方法で強調してもよい。例えば、文字を太くする／大きくする、文字色や欄の色を変える、文字が点滅するなどの方法がある。

異なる項目内容の中で異なる部分に下線を引く、斜字体にするなどして、内容のどの部分が異なるか分かり易く表示してもよい。

【0132】

上記実施形態では、対応する項目は、項目内容を格納するデータベースの属性名が同じであることで判別していた。対応する項目の属性名の対応表を用意することで、項目名が異なっても、項目間の対応をとることができる。

【0133】

《効果》

上記実施形態により、東西区職員は、東西区として地方向けポータルサイトから一般公開しているサービス情報詳細と全国向けポータルサイトに提供して変更が加えられて全国向けポータルサイトから一般公開されたサービス情報詳細との違いが、以下の理由で簡単に把握できるようになる。

(1) 一般公開されているそれぞれのサービス情報詳細の項目の順番は異なっても、比較画面では同じ順序になっている。また、項目の内容の記載量によりそれぞれの画面では項目の欄の高さが異なる場合であっても、高い方に合わせて表示するため、横に同じ項目が並んで表示されている。

【0134】

(2) 項目の内容が異なる場合には、その項目を強調して表示している。このために内容が異なる項目が一目でわかる。

(3) 一方のサービス情報詳細の表示形式が、単純に項目を並べるのではなく、大分類と小分類に分けられ、階層的に（入れ子の形で）サービス情報詳細の項目を表示している場合であっても、項目内容を含んでいる小分類の項目に合わせて比較画面が構成されている。このために、対応する項目同士を比較しやすくなっている。

(4) 画面は2つあるが、スクロールバーは1つしか設けておらず、1つのスクロールバーを操作すれば両方の画面領域が同時にスクロールして、常に同じ項目が表示され、違いが分かりやすくなっている。

【0135】

また、以下の理由により、サービス情報詳細を閲覧した地域住民からの問い合わせに容易に対応することができる。

(1) 基準となる一方のサービス情報詳細画面の表示形式（項目の表示順序、項目名称、および、大分類・小分類の階層的表示）を維持した比較画面となっている。このために、問い合わせてきた地域住民の画面を基準とすることで、地域住民が閲覧している画面と

同等の画面を見ながら問い合わせに対応することができ、画面に対する齟齬が発生しにくくなる。例えば、上から２番目の項目とか、下の方にある項目とかといっても、問い合わせしてきた地域住民と対応する東西区職員との間で食い違いが生じにくい。

(２) 内容が異なる項目を強調するにあたり、基準ではないサービス情報詳細の項目のみを強調しており、基準となるサービス情報詳細の画面は地域住民が閲覧している画面と同等である。このために、画面に対する齟齬が発生しにくくなる。

【０１３６】

なお、上記実施形態では、介護サービス情報を扱うサービス情報公開システム１００の例を説明しているが、その他の情報を扱うシステムに適用することも可能である。また、前述した説明では、サーバ１２０による処理として説明しているが、端末１１０の処理によって実現することも可能である。この場合、端末１１０は、サーバ１２０と同様のプログラムを実行し、関係データベース１３０との間で必要なデータを送受信することで、同等の機能を実現する。

【０１３７】

また、実施形態において記載した手法、すなわち各フローチャートに示す処理等の各手法は、コンピュータに実行させることができるプログラムとして、メモリカード（ＲＯＭカード等）、磁気ディスク（フレキシブルディスク、ハードディスク等）、光ディスク（ＣＤ－ＲＯＭ、ＤＶＤ等）、半導体メモリ等の記録媒体に格納して配布することができる。そして、コンピュータは、外部記録媒体に記録されたプログラムを読み込み、このプログラムによって動作が制御されることにより、実施形態において説明した機能と同様の処理を実現することができる。

【０１３８】

また、各手法を実現するためのプログラムのデータは、プログラムコードの形態としてネットワーク（インターネット）上を伝送させることができ、このネットワーク（インターネット）に接続されたコンピュータ（サーバなど）からプログラムデータを取り込み、前述した実施形態と同様の機能を実現することもできる。

【０１３９】

なお、本願発明は、実施形態に限定されるものではなく、実施段階ではその要旨を逸脱しない範囲で種々に変形することが可能である。更に実施形態には種々の段階の発明が含まれており、開示される複数の構成要件における適宜な組み合わせにより種々の発明が抽出され得る。例えば、実施形態に示される全構成要件から幾つかの構成要件が削除されたり、幾つかの構成要件が組み合わされても、発明が解決しようとする課題で述べた課題が解決でき、発明の効果の欄で述べられている効果が得られる場合には、この構成要件が削除されたり組み合わされた構成が発明として抽出され得るものである。

【０１４０】

以下に、この出願の願書に最初に添付した特許請求の範囲に記載した発明を付記する。付記に記載した請求項の項番は、この出願の願書に最初に添付した特許請求の範囲の通りである。

《付記》

《請求項１》

第１のデータベースに登録されている複数のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第１の情報提供サービスとして公開する第１のサービス情報公開手段と、

第２のデータベースに登録されている複数のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第２の情報提供サービスとして公開する第２のサービス情報公開手段と、

前記第１のデータベースに登録されているサービス情報であって前記第２の情報提供サービスでも公開されるように前記第２のデータベースへの登録候補として前記第２の情報提供サービスに情報提供されたことのあるサービス情報を表示させる際に、当該サービス情報に基づいて前記第２の情報提供サービスで公開されることになったサービス情報を前記情報提供されたことのあるサービス情報と比較可能に表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段と、

を備えたことを特徴とするサービス情報公開システム。

《請求項 2》

前記サービス情報は、複数の項目からなり、

前記操作ボタンを操作すると、前記第 1 のデータベースに登録されているサービス情報であって前記第 2 の情報提供サービスでも公開されるように前記第 2 のデータベースへの登録候補として前記第 2 の情報提供サービスに情報提供されたことのある第 1 のサービス情報と、当該サービス情報に基づいて前記第 2 の情報提供サービスで公開されることになった第 2 のサービス情報とを比較可能に表示される比較表示画面が表示される

ことを特徴とするサービス情報公開システム。

《請求項 3》

複数の項目からなるサービス情報が新規登録される第 1 のデータベースに登録されている複数の第 1 のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報の登録者が提供する第 1 の情報提供サービスとして公開する第 1 のサービス情報公開手段と、

前記第 1 のサービス情報が追加登録される第 2 のデータベースに登録されている複数の第 2 のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報のポータルサイトが提供する第 2 の情報提供サービスとして公開する第 2 のサービス情報公開手段と、

前記第 1 のデータベースに登録されている前記第 1 のサービス情報であって前記第 2 の情報提供サービスでも公開されるように前記第 2 のデータベースへの登録候補として前記第 2 の情報提供サービスに情報提供されたことのある前記第 1 のサービス情報を表示させる際に、当該サービス情報に基づいて前記第 2 の情報提供サービスで公開されることになった前記第 2 のサービス情報を前記情報提供されたことのある前記第 1 のサービス情報と比較可能に表示される比較表示画面を表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段と、

を備えたことを特徴とするサービス情報公開システム。

《請求項 4》

複数の項目からなるサービス情報が新規登録される第 1 のデータベースに登録されている複数の第 1 のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報の登録者が提供する第 1 の情報提供サービスとして公開する第 1 のサービス情報公開手段と、

前記第 1 のサービス情報が追加登録される第 2 のデータベースに登録されている複数の第 2 のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報のポータルサイトが提供する第 2 の情報提供サービスとして公開する第 2 のサービス情報公開手段と、

前記第 1 のデータベースに登録されている前記第 1 のサービス情報であって前記第 2 の情報提供サービスでも公開されるように前記第 2 のデータベースへの登録候補として前記第 2 の情報提供サービスに情報提供されたことのある前記第 1 のサービス情報を表示させる際に、当該サービス情報に基づいて前記第 2 の情報提供サービスで公開されることになった前記第 2 のサービス情報をユーザからの所定の操作に基づいて前記情報提供されたことのある前記第 1 のサービス情報と比較可能に表示される比較表示画面を表示させる表示制御手段と、

を備えたことを特徴とするサービス情報公開システム。

《請求項 5》

前記比較表示画面は、

前記第 1 のサービス情報と前記第 2 のサービス情報とが横に並ぶように表示され、

前記第 1 のサービス情報の前記項目は、前記第 2 のサービス情報の同じ前記項目の表示順と同じになるように並び替えられて表示され、

前記第 1 のサービス情報の前記項目と前記第 2 のサービス情報の同じ前記項目とが横に並ぶように表示される

ことを特徴とする請求項 2～4 の何れか 1 項に記載のサービス情報公開システム。

《請求項 6》

前記比較表示画面は、

前記第 1 のサービス情報と前記第 2 のサービス情報とが横に並ぶように表示され、

10

20

30

40

50

前記第2のサービス情報の前記項目は、前記第1のサービス情報の同じ前記項目の表示順と同じになるように並び替えられて表示され、

前記第2のサービス情報の前記項目と前記第1のサービス情報の同じ前記項目とが横に並ぶように表示される

ことを特徴とする請求項2～4の何れか1項に記載のサービス情報公開システム。

《請求項7》

前記比較表示画面は、

前記第1のサービス情報と前記第2のサービス情報とが縦に並ぶように表示され、

前記第1のサービス情報の前記項目は、前記第2のサービス情報の同じ前記項目の表示順と同じになるように並び替えられて表示され、

前記第1のサービス情報または前記第2のサービス情報のうち一方のサービス情報の表示領域に付随するスクロールバーが操作されて前記表示領域に表示される前記項目が変化したときに、他方の表示領域に表示される前記項目が同じである

ことを特徴とする請求項2～4の何れか1項に記載のサービス情報公開システム。

《請求項8》

前記比較表示画面は、

前記第1のサービス情報と前記第2のサービス情報とが縦に並ぶように表示され、

前記第2のサービス情報の前記項目は、前記第1のサービス情報の同じ前記項目の表示順と同じになるように並び替えられて表示され、

前記第1のサービス情報または前記第2のサービス情報のうち一方のサービス情報の表示領域に付随するスクロールバーが操作されて前記表示領域に表示される前記項目が変化したときに、他方の表示領域に表示される前記項目が同じである

ことを特徴とする請求項2～4の何れか1項に記載のサービス情報公開システム。

《請求項9》

前記比較表示画面は、

前記第1のサービス情報の前記項目の内容と前記第2のサービス情報の同じ前記項目の内容とが異なる項目について、前記第1のサービス情報の項目の表示方法を前記第1のサービス情報の他の項目と異なる形態で表示する

ことを特徴とする請求項2～4の何れか1項に記載のサービス情報公開システム。

《請求項10》

前記比較表示画面は、

前記第1のサービス情報の前記項目の内容と前記第2のサービス情報の同じ前記項目の内容とが異なる項目について、前記第2のサービス情報の項目の表示方法を前記第2のサービス情報の他の項目と異なる形態で表示する

ことを特徴とする請求項2～4の何れか1項に記載のサービス情報公開システム。

《請求項11》

前記異なる形態は、

前記項目の欄の枠を太くする、前記項目の欄の色を異なる色にする、前記項目の文字を太くする、前記項目の文字の色を異なる色にする、前記項目の文字のフォントを異なるフォントにする、前記項目の文字を斜体にする、または、前記項目の文字に下線を引く

ことを特徴とする請求項9または10に記載のサービス情報公開システム。

《請求項12》

複数の項目からなるサービス情報が新規登録される第1のデータベースに登録されている複数の第1のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報の登録者が提供する第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段と、

前記第1のサービス情報が追加登録される第2のデータベースに登録されている複数の第2のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報のポータルサイトが提供する第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段と、

前記第1のデータベースに登録されている前記第1のサービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記

10

20

30

40

50

第2の情報提供サービスに情報提供されたことのある前記第1のサービス情報を表示させる際に、当該サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった前記第2のサービス情報の前記第2の情報提供サービスでの取り扱い状態を表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段と、

を備えたことを特徴とするサービス情報公開システム。

《請求項13》

ネットワークに接続されたコンピュータを、

第1のデータベースに登録されている複数の第1のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、

第2のデータベースに登録されている複数の第2のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、

前記第1のデータベースに登録されている前記第1のサービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに情報提供されたことのある前記第1のサービス情報を表示させる際に、当該サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった前記第2のサービス情報を前記情報提供されたことのある前記第1のサービス情報と比較可能に表示される比較表示画面を表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段、

として機能させるためのサービス情報公開プログラム。

《請求項14》

ネットワークに接続されたコンピュータを、

複数の項目からなるサービス情報が新規登録される第1のデータベースに登録されている複数の第1のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報の登録者が提供する第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、

前記第1のサービス情報が追加登録される第2のデータベースに登録されている複数の第2のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報のポータルサイトが提供する第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、

前記第1のデータベースに登録されている前記第1のサービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに情報提供されたことのある前記第1のサービス情報を表示させる際に、当該サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった前記第2のサービス情報を前記情報提供されたことのある前記第1のサービス情報と比較可能に表示される比較表示画面を表示させる、ための操作ボタンを表示させる表示制御手段、

として機能させるためのサービス情報公開プログラム。

《請求項15》

ネットワークに接続されたコンピュータを、

複数の項目からなるサービス情報が新規登録される第1のデータベースに登録されている複数の第1のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報の登録者が提供する第1の情報提供サービスとして公開する第1のサービス情報公開手段、

前記第1のサービス情報が追加登録される第2のデータベースに登録されている複数の第2のサービス情報のそれぞれを、ネットワークを介した前記サービス情報のポータルサイトが提供する第2の情報提供サービスとして公開する第2のサービス情報公開手段、

前記第1のデータベースに登録されている前記第1のサービス情報であって前記第2の情報提供サービスでも公開されるように前記第2のデータベースへの登録候補として前記第2の情報提供サービスに情報提供されたことのある前記第1のサービス情報を表示させる際に、当該サービス情報に基づいて前記第2の情報提供サービスで公開されることになった前記第2のサービス情報をユーザからの所定の操作に基づいて前記情報提供されたことのある前記第1のサービス情報と比較可能に表示される比較表示画面を表示させる表示制御手段、

として機能させるためのサービス情報公開プログラム。

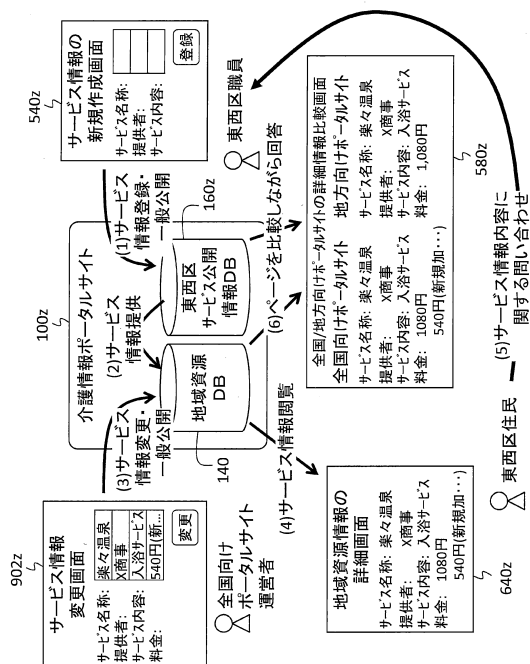
【符号の説明】

【 0 1 4 1 】

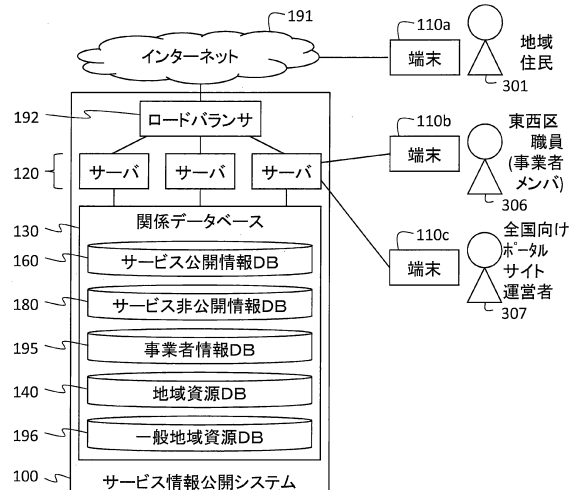
- 1 0 0 サービス情報公開システム
- 1 1 0 端末
- 1 2 0 サーバ
- 1 3 0 関係データベース
- 1 4 0 地域資源 D B （第 2 のデータベース）
- 1 6 0 サービス公開情報 D B （第 1 のデータベース）
- 1 8 0 サービス非公開情報 D B
- 5 6 0 c 全国向けポータルサイトへ提供されたサービス情報が公開された後のサービス
情報詳細基本情報画面
- 5 6 3 全国／地方向けポータルサイトの比較ボタン（操作ボタン）
- 5 8 0、5 8 0 b、5 8 0 c、5 8 0 d 全国向けポータルサイトと地方向けポータルサ
イトとのサービス情報詳細比較画面

10

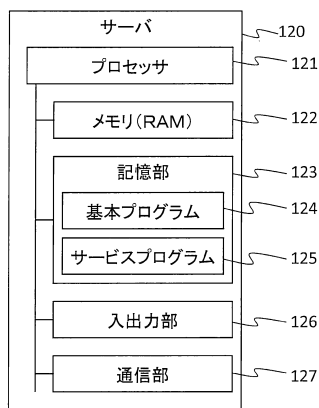
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

サービス 情報ID	区分	名称	提供元	提供元住所
493803	通所	いきいき元気会	元気シニア活動館	東西区本町348
...	...	...	...	...

概要	料金	申込 方法	備考	一般 公開	一般 公開日	ポータル 提供	ポータル 提供日
地域のシニア が集ま...	1,080円	電話・ HP		Y	20170301	Y	20170302
...	...	...	...	...	...	...	...

【図 5】

サービス 情報ID	項目名	項目内容
493803	対象者	要介護2まで
...	...	...

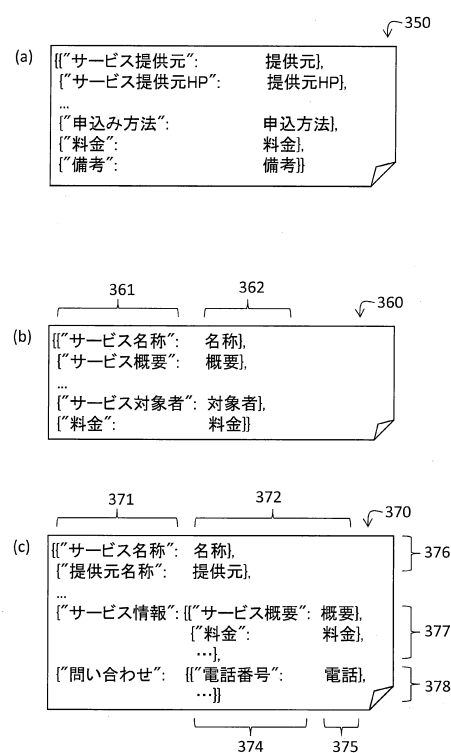
【図 6】

サービス 情報ID	区分	名称	提供元	提供元住所
493803	通所	いきいき元気会	元気シニア活動館	東西区本町348
...	...	...	...	...

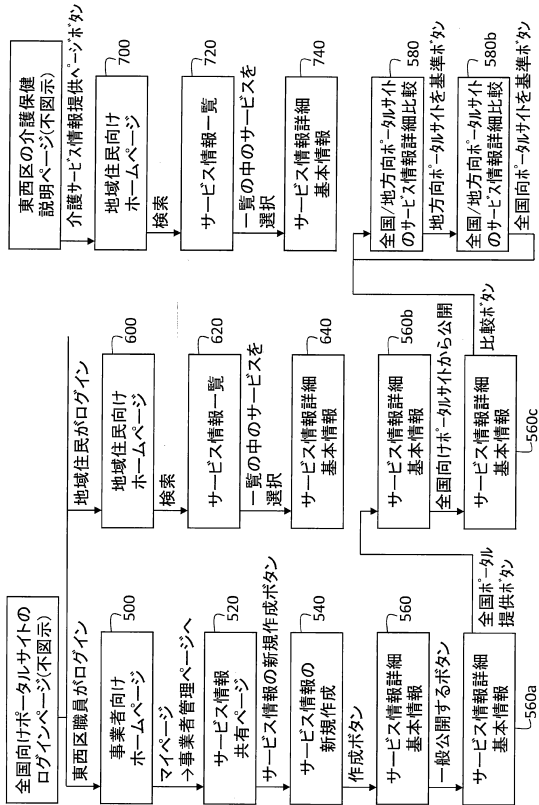
概要	料金	申込 方法	備考
地域のシニア が集ま...	1,080円 540円(新規後6カ月間)	電話・ HP	
...	...	...	...

情報 提供元	情報 提供日	状態	承認日	公開日
東西区	20170302	承認 依頼		
...	...	...	...	...

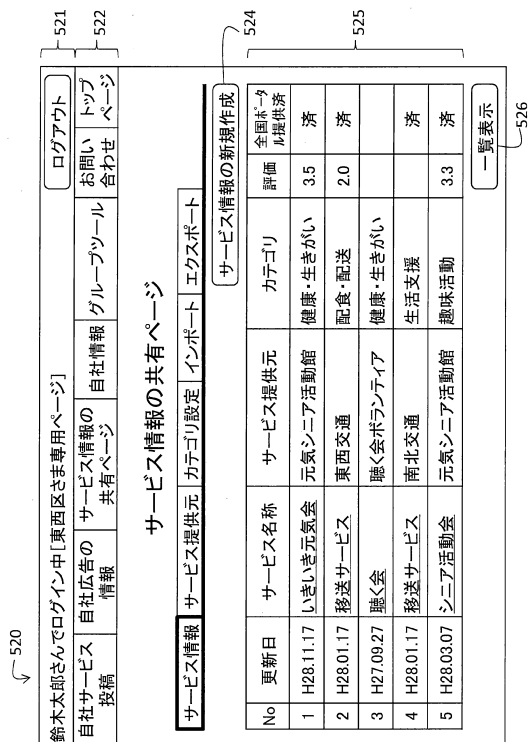
【図 7】



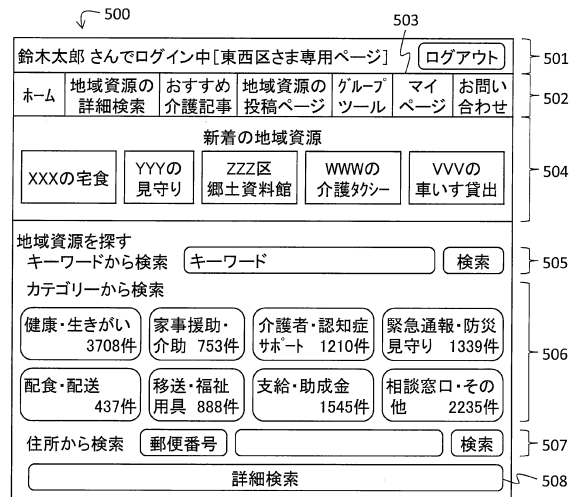
【図 8】



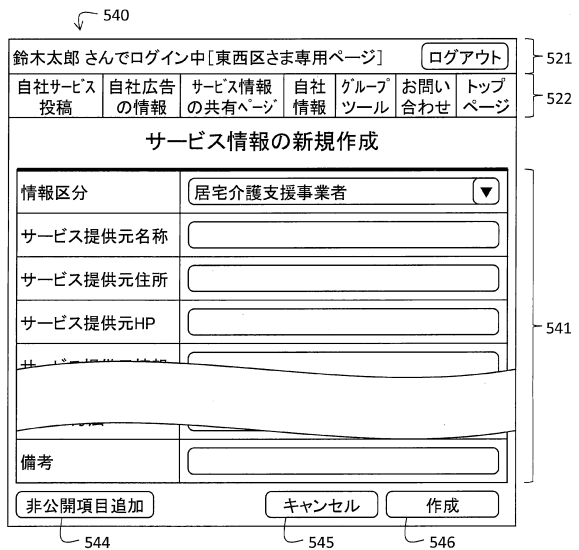
【図 10】



【図 9】



【図 1 1】



【図 1 2】

鈴木太郎 さんでログイン中[東西区さま専用ページ] [ログアウト](#)

[自社サービス投稿](#)
[自社広告の情報](#)
[サービス情報の共有ページ](#)
[自社情報](#)
[グループツール](#)
[お問い合わせ](#)
[トップページ](#)

サービス情報の新規作成

情報区分	居宅介護支援事業者 ▼
サービス提供元名称	
サービス提供元住所	
サービス提供元HP	
サービス提供元情報	
備考	

【図 1 3】

鈴木太郎 さんでログイン中[東西区さま専用ページ] [ログアウト](#)

[自社サービス投稿](#)
[自社広告の情報](#)
[サービス情報の共有ページ](#)
[自社情報](#)
[グループツール](#)
[お問い合わせ](#)
[トップページ](#)

サービス情報詳細

いきいき元気会<元気シニア活動館>
 事業者: 東西区南北地域介護支援センタ
 情報区分: 通所
 カテゴリ: 健康・生きがい
 評価
☐非常に良い(☆4) ☐良い(☆3) ☐悪い(☆2) ☐非常に悪い(☆1)

サービス提供元	元気シニア活動館
サービス提供元HP	https://www.iki-...
サービス提供元情報	活き活き元気な健康生活を応援します。
サービス名称	いきいき元気会

申込み方法	電話(03-1234-5678)または申込みページ
料金	1,080円
備考	

非公開情報

対象者	要介護2まで
-----	--------

【図 1 4】

鈴木太郎 さんでログイン中[東西区さま専用ページ] [ログアウト](#)

[自社サービス投稿](#)
[自社広告の情報](#)
[サービス情報の共有ページ](#)
[自社情報](#)
[グループツール](#)
[お問い合わせ](#)
[トップページ](#)

サービス情報詳細

いきいき元気会<元気シニア活動館>
 事業者: 東西区南北地域介護支援センタ
 情報区分: 通所
 カテゴリ: 健康・生きがい
 評価
☐非常に良い(☆4) ☐良い(☆3) ☐悪い(☆2) ☐非常に悪い(☆1)

サービス提供元	元気シニア活動館
サービス提供元HP	https://www.iki-...
サービス提供元情報	活き活き元気な健康生活を応援します。
サービス名称	いきいき元気会

申込み方法	電話(03-1234-5678)または申込みページ
料金	1,080円
備考	

非公開情報

対象者	要介護2まで
-----	--------

【図 1 5】

鈴木太郎 さんでログイン中[東西区さま専用ページ] [ログアウト](#)

[自社サービス投稿](#)
[自社広告の情報](#)
[サービス情報の共有ページ](#)
[自社情報](#)
[グループツール](#)
[お問い合わせ](#)
[トップページ](#)

サービス情報詳細

いきいき元気会<元気シニア活動館>
 事業者: 東西区南北地域介護支援センタ
 情報区分: 通所
 カテゴリ: 健康・生きがい
 評価
☐非常に良い(☆4) ☐良い(☆3) ☐悪い(☆2) ☐非常に悪い(☆1)

サービス提供元	元気シニア活動館
サービス提供元HP	https://www.iki-...
サービス提供元情報	活き活き元気な健康生活を応援します。
サービス名称	いきいき元気会

申込み方法	電話(03-1234-5678)または申込みページ
料金	1,080円
備考	

非公開情報

対象者	要介護2まで
-----	--------

【図 16】

田中次郎さんでログイン中 ログアウト

ホーム 地域資源の詳細検索 おすすめ介護記事 地域資源の投稿ページ グループツール お問い合わせ

新着の地域資源

XXXの宅食 YYYの見守り ZZZ区郷土資料館 WWWの介護タシ VVVの車いす貸出

地域資源を探す
キーワードから検索

カテゴリから検索

健康・生きがい 3708件 家事援助・介助 753件 介護者・認知症サポート 1210件 緊急通報・防災見守り 1339件

配食・配送 437件 移送・福祉用具 888件 支給・助成金 1545件 相談窓口・その他 2235件

住所から検索

【図 17】

田中次郎さんでログイン中 ログアウト

ホーム 地域資源の詳細検索 おすすめ介護記事 地域資源の投稿ページ グループツール お問い合わせ

サービス情報一覧

現在の検索条件
東西区本町周辺 検索条件再設定

検索結果: 5件

表示方法 リスト マップ 表示件数 20件表示 ▼

No	更新日	サービス名称	サービス提供元	カテゴリ
1	H28.11.17	いきいき元気会	元気シニア活動館	健康・生きがい
2	H28.01.17	移送サービス	東西交通	配食・配送
3	H28.01.17	移送サービス	南北交通	生活支援
4	H28.03.07	シニア活動会	元気シニア活動館	趣味活動
5	H29.01.09	くつろぎ温泉	中央浴場	訪問入浴

戻る

【図 18】

田中次郎さんでログイン中 ログアウト

ホーム 地域資源の詳細検索 おすすめ介護記事 地域資源の投稿ページ グループツール お問い合わせ

地域資源情報の詳細

いきいき元気会<元気シニア活動館>

基本情報 空き情報

サービス名称	いきいき元気会
サービス概要	地域のシニアが集まってグループ活動...
サービス提供元HP	https://www.iki.../genkikai/
対象エリア	東西区 本町、本上町、本下町、門前町
サービス提供元	東西区本町348番地
サービス対象者	自力で来所できる方
料金	1,080円 540円(新規加入後6カ月間)

戻る

【図 19】

東西区 地域資源情報

このホームページでは、東西区の「介護サービス事業者」の情報が閲覧・検索できます。皆様の「事業所・施設選び」にお役立て下さい。

事業者の方はこちら

キーワードから検索

カテゴリから検索

健康・生きがい 家事援助・介助 介護者・認知症サポート 緊急通報・防災・見守り

配食・配送 移送・福祉用具 支給・助成金 相談窓口・その他

地区から検索

住所から検索

【図 20】

東西区 地域資源情報

住所からの「介護サービス事業所」詳細一覧

現在の検索条件
キーワード:
カテゴリ:
住所: 本町
地区:

検索条件再設定

検索結果: 5件

表示方法 リスト マップ 表示件数 20件表示 ▼

No.1	更新日: H28.11.17		
サービス名称	いきいき元気会		
カテゴリ	健康・いきがい		
住所	東西区本町348		
問い合わせ先	03-1234-XXXX		

No.2	更新日: H28.1.17		
サービス名称	移送サービス		
カテゴリ	移送		
問い合わせ先	03-5678-XXXX		

一覧印刷 エクスポート

【図 21】

東西区 地域資源情報

「介護サービス事業所」詳細情報
いきいき元気会<元気シニア活動館>

基本情報 空き情報

サービス名称	いきいき元気会
提供元名称	元気シニア活動館
サービス提供元住所	東西区本町348

サービス情報

サービス概要	料金: 1,080円 定員: 50名 サービス説明HP: https://www.iki-... ...
問い合わせ	電話番号: 03-1234-XXXX ...

戻る

【図 22】

鈴木太郎 さんでログイン中[東西区さま専用ページ] ログアウト

自社サービス投稿 自社広告の共有ページ サービス情報の共有 自社情報の共有 お問い合わせ ツール

サービス情報詳細

いきいき元気会<元気シニア活動館>
事業者: 東西区南北地域介護支援センタ
情報区分: 通所
カテゴリ: 健康・生きがい
評価
○非常に良い(☆4) ○良い(☆3) ○悪い(☆2) ○非常に悪い(☆1)

一般公開済 全国ホール提供済

全国/地方向けポータルサイトの比較

サービス提供元	元気シニア活動館
サービス提供元HP	https://www.iki-...
サービス提供元情報	活き活き元気な健康生活を応援します。
サービス名称	いきいき元気会

プリント

申込み方法	電話(03-1234-XXXX)または申込みページ
料金	1,080円
備考	

非公開情報

対象者	要介護2まで
-----	--------

戻る

【図 23】

全国/地方向けポータルサイトのサービス詳細情報比較

いきいき元気会<元気シニア活動館>
全国向けポータルサイト(サイト表示通り)

サービス名称	いきいき元気会	サービス概要	地域のシニアが... スマホ講習会開催中	サービス提供元HP	http://www.iki-...	対象エリア	東西区 本町、...	サービス提供場所	東西区本町...
--------	---------	--------	-------------------------	-----------	---	-------	------------	----------	----------

地方向けポータルサイトを基準

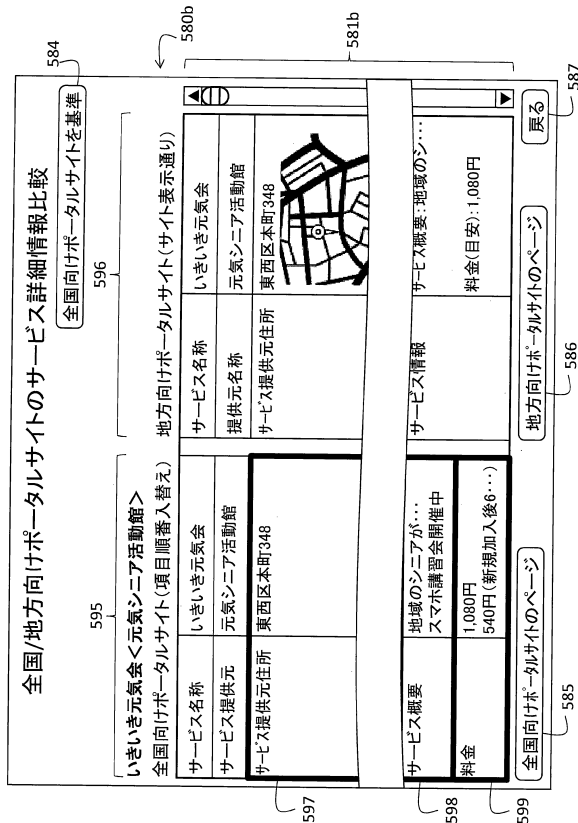
サービス対象者	自力で来所できる方	料金	1,080円 340円(新規加入後6...)
---------	-----------	----	---------------------------

全国向けポータルサイトのページ

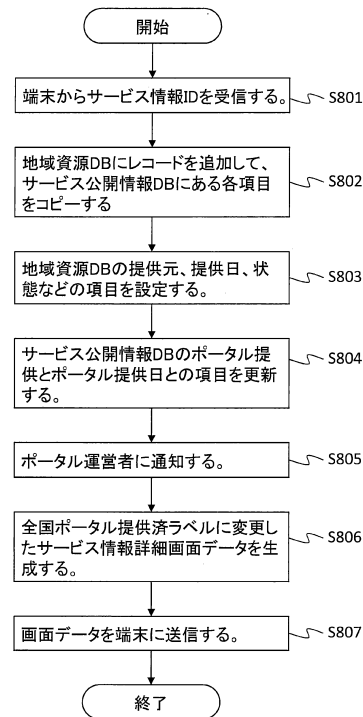
地方向けポータルサイトのページ

戻る

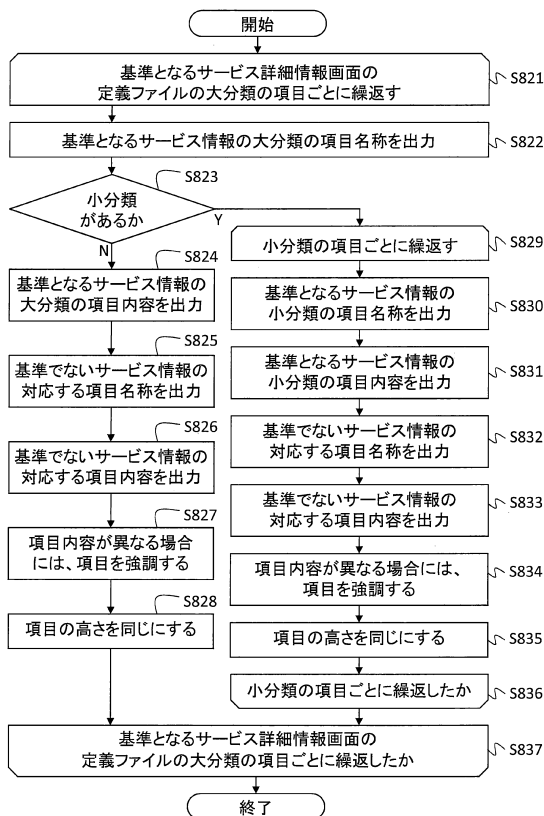
【図 24】



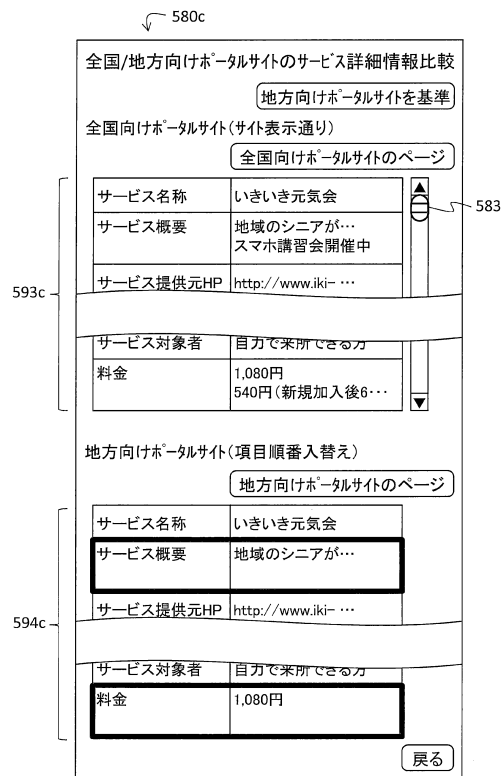
【図 25】



【図 26】



【図 27】



全国/地方向けポータルサイトのサービス詳細情報比較

584 全国向けポータルサイトを基準

595 いきいき元氣会<元氣シニア活動館>
全国向けポータルサイト(項目順番入替え)

596 地方向けポータルサイト(サイト表示通り)

580d

サービス名称	いきいき元氣会
提供元名称	元氣シニア活動館
サービス提供元住所	東西区本町348

581d

非公開

サービス情報

サービス概要:地域のシ...

料金(目安):1,080円

585 全国向けポータルサイトのページ

586 地方向けポータルサイトのページ

587 戻る

フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00 - 99/00